京都市観光協会
KYOTO CITY
TOURISM ASSOCIATION

KYOTO
TRADITION MEETS INNOVATION
Kyoto Convention & Visitors Bureau

令和５年１月31日

お 知 ら せ

公益社団法人　京都市観光協会（DMO KYOTO）
公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

京都市観光協会データ月報（2022年12月および年次速報）について

このたび、京都市観光協会データ月報（2022年12月および年次速報）をとりまとめましたのでお知らせします。今回のホテル統計の対象施設数は115軒、旅館統計の対象施設数は26軒です。

12月の調査結果のポイント

ホテル統計

入国制限緩和と「全国旅行支援」に加え、年末年始休暇の影響で、稼働率はコロナ禍前と同水準に

京都市内主要ホテル115施設における2022年12月の客室稼働率は73.4%となった。前月（11月）の80.2%からは6.8ポイント減、前年同月の53.5%からは19.9ポイント増となった。入国規制の緩和や、「全国旅行支援」による下支え、年末年始休暇の影響が重なったことで、コロナ禍前2019年12月の76.1%に迫る水準にまで稼働が高まった。その差はわずか2.7ポイントであり、コロナ禍となってから2019年同月からの減少幅が最も小さくなった（P10,P14）。

日本人延べ宿泊数の2019年同月比は、コロナ禍前からの対象施設のみで比較すると34.8%増

日本人延べ宿泊数は584,348泊となり、前月（11月）の653,643泊から10.6%減となった。調査対象施設数の変化を考慮しない場合、前年同月比は15.0%増、2019年同月比は101.3%増となった。コロナ禍前からの調査対象かつ開業済みであった施設のみ（57施設）で比較すると、前年同月比は12.4%増、2019年同月比は34.8%増となった。2019年同月は台風や消費税増税によって旅行需要が低下していたことも、2019年同月比が大きくなった要因の一つと考えられる（P10）。

外国人延べ宿泊数は徐々に回復しており、外国人比率も24.7%とコロナ禍での最高値を更新し続けている

外国人延べ宿泊数は191,817泊となり、前月（11月）の146,282泊から31.1%増となった。調査対象施設数の変化を考慮しない場合、前年同月比は8615.0%増、2019年同月比は18.5%減となった。コロナ禍前からの調査対象かつ開業済みであった施設のみ（57施設）で比較すると、前年同月比は8254.8%増、2019年同月比は44.7%減となり、前月（11月）の2019年同月比64.7%減からさらに回復した。総延べ宿泊者数における外国人比率は24.7%と、前月（11月）の18.3%から6.4ポイント増加、2019年同月の44.8%からは20.1ポイント減少となった（P10）。

前月に引き続きアメリカの宿泊客が最も多いが、台湾、韓国、シンガポールからの入洛の回復も目立つ

外国人延べ宿泊数の国・地域別構成比でみると、アメリカが19.3%と最も多かった。次いで、台湾、韓国、シンガポールとなっており、これらの地域は入国規制緩和後の需要の回復が目立つ。2019年同月比では、韓国が243.9%増と大きく伸長した。コロナ禍前からの調査対象かつ開業済みであった施設のみ（57施設）で比較した場合の2019年同月比も126.4%増と、増加傾向は変わらなかった。これは、2019年夏ごろから日韓関係が悪化した影響からの反動によるものと考えられる（P15）。

平均客室単価、客室収益指数ともに、コロナ禍で初めて2019年同月の水準を上回った

平均客室単価は16,376円となり、前年同月の13,162円からは24.4%増、2019年同月の13,825円からは18.5%増となった。客室収益指数（平均客室単価に客室稼働率を乗じた指標で、１室あたりの売上高に相当する）は12,020円となり、前年同月の7,042円から70.7%増、2019年同月の10,521円からは14.2%増となった。平均客室単価や客室収益指数が2019年同月の水準を上回るのは、コロナ禍以後では初めてである。平均客室単価を米国ドル建てで換算しても2019年同月比で4.4%減まで回復した。12月は円安に歯止めがかかる動きがあったことに加えて、宿泊需要の高まりに応じた価格設定や、人件費・原材料費高騰などに対応した価格設定をとる施設が増えたものと考えられる。（P17,18）。

旅館統計

12 月の旅館の客室稼働率は 67.3%となり、コロナ禍で初めて 2019 年同月を超えた

市内主要旅館 26 施設における 12 月の稼働率は 67.3%となり、前月（11 月）の 69.2%から 1.9 ポイント減、前年同月の 47.7%から 19.6 ポイント増、コロナ禍前である 2019 年同月の 62.9%から 4.4 ポイント増となった。修学旅行の催行が続いていることや、外国人の宿泊数も増加したことで稼働率が高まった（P20）。

市場環境全般

「行こう指数」は、前月から大幅に減少も、12 月としては例年通りの水準となった

日本人による京都観光への訪問意向「行こう指数」の 2022 年 12 月の値は 102.7（2019 年の平均値を 100 とした場合）となり、前月（11 月）の 163.2 からは 60.5 ポイント減、前年同月の 102.4 と同水準となった。例年通り、紅葉シーズン終了後は京都にとっては閑散期であり、ネット上の検索量が減少したものとみられる（P25）。

京都市内における宿泊施設の施設数は前年同月比 4.1%減、客室数は前年同月比 1.2%減となった

2022 年 12 月末時点での京都市内における営業許可を受けた宿泊施設の施設数は、16 軒開業、17 軒廃業、差し引き 1 軒減少して、3,478 軒となり、前年同月の 3,625 軒からは 4.1%の減少となった。総客室数（推計）は 57,488 室となり、前年同月の 58,172 室から 1.2%の減少となった。総客室数は、前月（11 月）から 2 か月連続で前年同月から減少している（P27）。

日帰り客を含めた市内の日本人来街者指数は、2019 年同月を 4 か月連続で上回っている

2022 年 12 月の来街者指数は 104.1（2019 年の平均値を 100 とした場合）となり、前年同月の 88.0 を 16.1 ポイント上回った。コロナ禍前である 2019 年同月を 4 か月連続で上回っている（P28）。

市内 4 百貨店の総売上額は 260 億円を超え、前年同月比 9.6%増となった

12 月の市内 4 百貨店の総売上額は前年同月比 9.6%増、コロナ禍前である 2019 年同月比では 0.2%増とほぼ同水準になっている。免税売上額の前年同月比は 1,020.4%増となったが、2019 年同月比では 14.4%減となった（P30）。

観光案内所の相談者数は前月（11 月）から 23.1%減となった

12 月の相談者数は前月（11 月）から 23.1%減、2019 年同月比は 37.2%減であった。外国人相談者数の 2019 年同月比は 53.3%減であり、コロナ禍前の水準には至っていない（P31）。

今後の見通し

年明け以降の予測稼働率は低下するものの、潜在需要は高まっており、春頃の再回復には期待できる

12 月時点の今後の客室稼働率の予測値は、1 月 47.0%、2 月 49.4%、3 月 73.5%となった。コロナ禍前の同時期の稼働率（実績）が、2019 年 1 月 65.6%、2019 年 2 月 78.5%、2019 年 3 月 85.0%であったことを踏まえると、依然としてコロナ禍前の水準には達しない見込みである。例年、春節の影響で中華圏からの旅行者が増加する時期ではあるが、日中両国間での入国規制が強化されているため、今年の春節における観光への影響は限定的なものに留まるとみられる。ただし、近距離からの旅行者は燃油サーチャージの高騰の影響を受けにくいため、春頃までは台湾や韓国など中国以外の東アジア市場が回復を牽引する状態が続くと思われる。

Google によると、訪日旅行に関する潜在需要（航空および宿泊需要の検索動向の指数）は、12 月時点で 76.4 となっており、コロナ禍前の 2019 年同月を大幅に上回り、需要指数は高水準で推移している。春に向けて、円安の後押しもあり欧米諸国を含む訪日市場のさらなる回復が期待され、現時点での 3 月、4 月の宿泊予約サイトにおける平均販売価格も 3 万円～4 万円で推移している。一方で、一部の宿泊施設からは人手不足によって稼働を抑えざるを得ないという声もあり、業界全体で受け入れ態勢を整える必要がある（P14,P26）。

2022年　年次速報

ホテル統計

2022年客室稼働率は52.5%となり、前年の30.２%を22.3ポイント上回った

京都市内主要ホテルの2022年の客室稼働率は52.5%となり、前年の30.2%を22.3ポイント上回った。2022年は、当初は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で稼働率が低い状況にあったが、4月以降は行動制限が無くなり個々の判断で感染対策をしながら旅行する動きが増え、さらに10月から「全国旅行支援」や外国人観光客の入国制限が緩和された為、年末にかけてコロナ禍前の稼働率に近い水準にまで回復し、結果的に年間の稼働率は52.5%となった。

2022年平均客室単価･客室収益指数は前年から回復も、コロナ禍前2019年の水準には満たない

京都市内主要ホテルの2022年の平均客室単価は13,558円となり、前年の11,455円から上昇した。客室収益指数（平均客室単価に客室稼働率を乗じた指標で、１室あたりの売上高に相当する）は7,118円となり、前年の3,457円から上昇した。ただし、いずれもコロナ禍前の2019年の水準は下回っており、2022年も宿泊施設をはじめとした観光業界にとっては厳しい経営状況であったと言える。

京都市内主要ホテルにおける主要指標の年次推移

	客室稼働率（%）	平均客室単価（円）	客室収益指数（円）
2015年	85.8	データ無し	データ無し
2016年	88.2	16,348	14,425
2017年	88.0	16,583	14,596
2018年	85.2	16,144	13,748
2019年	81.3	15,610	12,691
2020年	34.6	12,408	4,293
2021年	30.2	11,455	3,457
2022年	52.5	13,558	7,118

月別の客室稼働率（%）

	2022年	2021年	前年差（pts）	2019年	2019年差（pts）
1月	32.7	13.4	△19.4	65.6	▲ 32.8
2月	31.9	19.7	△12.2	78.5	▲ 46.6
3月	44.8	31.4	△13.4	85.0	▲ 40.2
4月	47.1	21.1	△26.0	89.9	▲ 42.8
5月	49.9	14.0	△35.9	83.1	▲ 33.2
6月	51.0	19.7	△31.3	79.8	▲ 28.8
7月	47.2	30.1	△17.1	77.1	▲ 30.0
8月	49.2	26.6	△22.6	83.1	▲ 33.9
9月	54.4	26.5	△28.0	82.9	▲ 28.4
１0月	63.7	38.8	△24.9	86.1	▲ 22.5
１１月	80.2	58.9	△21.3	88.4	▲ 8.2
１２月	73.4	53.5	△19.9	76.1	▲ 2.7
年間	52.5	30.2	△22.3	81.3	▲ 28.8

月別の平均客室単価

	2022年（円）	2021年（円）	前年比（%）	2019年（円）	2019年比（%）
１月	11,384	11,946	▼ 4.7	12,712	▼ 10.4
２月	10,524	10,672	▼ 1.4	12,628	▼ 16.7
３月	13,357	12,969	△ 3.0	17,185	▼ 22.3
４月	13,818	12,554	△ 10.1	22,341	▼ 38.1
５月	13,269	10,365	△ 28.0	17,318	▼ 23.4
６月	11,981	9,646	△ 24.2	13,181	▼ 9.1
７月	12,571	10,226	△ 22.9	13,966	▼ 10.0
８月	12,981	9,953	△ 30.4	13,838	▼ 6.2
９月	12,427	9,351	△ 32.9	13,175	▼ 5.7
１０月	14,647	11,097	△ 32.0	16,739	▼ 12.5
１１月	18,746	15,104	△ 24.1	20,186	▼ 7.1
１２月	16,376	13,162	△ 24.4	13,825	△ 18.5
年間加重平均	13,558	11,455	△ 18.4	15,610	▼ 13.1

旅館統計

京都市内主要旅館の 2022 年客室稼働率は 47.5%となり、前年の 24.1%を 23.4 ポイント上回った

京都市内主要旅館の 2022 年の客室稼働率は 47.5%となり、前年の 24.1%を 23.4 ポイント上回った。2022 年は 4 月以降行動制限が無くなり、修学旅行が再開され、5 月 6 月、9 月~12 月にかけて稼働率が高まった。ただし、修学旅行が予約された日以外は休業していた施設もあったことに留意が必要である。

京都市内主要旅館の稼働率の年次推移

	2022年	2021年	前年差（pts）	2019年	2019年差（pts）
1月	18.8	5.8	△ 13.0	-	-
2月	14.9	4.3	△ 10.6	-	-
3月	27.9	17.9	△ 10.0	-	-
4月	30.4	3.9	△ 26.5	79.2	▼ 48.8
5月	64.0	3.0	△ 61.0	77.6	▼ 13.6
6月	62.5	11.2	△ 51.3	69.9	▼ 7.4
7月	37.6	23.5	△ 14.1	50.4	▼ 12.8
8月	25.8	9.0	△ 16.8	47.3	▼ 21.5
9月	59.8	11.5	△ 48.3	61.1	▼ 1.3
10月	60.0	45.1	△ 14.9	70.0	▼ 10.0
11月	69.2	59.0	△ 10.2	71.3	▼ 2.1
12月	67.3	47.7	△ 19.6	62.9	△ 4.4
年間	47.5	24.1	△ 23.4	65.5	▼ 18.0

注）2022 年 4 月から 2019 年同月分を調査開始した為、2019 年 1～3 月のデータは未調査である

参考：新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言等の期間（京都・東京）

時期		京都	東京
2020年	4月	緊急事態宣言（1回目）4/16～5/21	緊急事態宣言（1回目）4/7～5/25
	5月	他府県への移動自粛 5/22～6/19	他府県への移動自粛 5/26～6/19
	6月	地元応援！京都で食べよう、泊まろうキャンペーン 6/19~9/30	
	7月	GoToトラベルキャンペーン 7/22～12/27	
	8月		
	9月		
	10月		GoToトラベルキャンペーン 10/1～12/27 ※東京が目的地12/18~12/27一時停止 もっとTokyoTokyo 10/23~11/28
	11月		
	12月		
2021年	1月	緊急事態宣言（2回目）1/14～2/28	緊急事態宣言（2回目）1/8～3/21
	2月		
	3月		
	4月	まん延防止等重点措置 4/12～4/24 緊急事態宣言（3回目）4/25～6/20	まん延防止等重点措置4/12～4/24 緊急事態宣言（3回目）4/25～6/20
	5月		
	6月	まん延防止等重点措置6/21～7/11	まん延防止等重点措置6/21～7/11
	7月		緊急事態宣言（4回目）7/12～9/30 東京五輪 7/23~8/8 8/24~9/5
	8月	まん延防止等重点措置8/2～8/19 緊急事態宣言（4回目）8/20～9/30	
	9月		
	10月	きょうと魅力再発見旅プロジェクト 10/22~2/1 ※1/4~近隣府県民に拡大 ※1/12~近隣府県民、順次新規予約停止 ※1/26~京都府民の予約停止	
	11月	KYOTOagain! 11/1~12/31	
	12月		
2022年	1月	平日京都キャンペーン 1/17~2/28 まん延防止等重点措置1/27～3/21	まん延防止等重点措置1/21～3/21
	2月		
	3月	きょうと魅力再発見旅プロジェクト 3/22~10/10 ※GW（4/30~5/8）を除く ※6/1~近隣府県民に拡大（奈良県民除く） ※7/1~奈良県民に拡大 ※7/15~9/11大阪府民は対象外 ※9/12~大阪府民に拡大	
	4月		
	5月		
	6月		もっとTokyo 6/10~7/31
	7月		
	8月	京都「にち・とま」キャンペーン 8月お盆明け～10月	
	9月		もっとTokyo 9/1~12/20
	10月	全国旅行支援（京都） 10/11～12/27	全国旅行支援（東京） 10/20～12/27
	11月		
	12月		
2023年	1月	全国旅行支援（京都） 1/10～3/31	全国旅行支援（東京） 1/10～3/31
	2月		
	3月		

出所）京都市HP、東京都HP、GoToトラベルHP、きょうと魅力再発見旅プロジェクトHP、ただいま東京プラスHP等を参考に京都市観光協会で作成

京都市観光協会データ月報（2022 年 12 月）本編

調査概要……7

（１）　全体概要……7
（２）　調査対象……7
（３）　分析数値……7
（４）　新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴う臨時的な休業の扱いについて……7
（５）　データ分析用ダッシュボードの提供について……8
（６）　その他……9

ホテル統計……10

（１）　主要指標の一覧……10
（２）　延べ宿泊数 前年同月比の推移……12
（３）　客室稼働率・外国人比率の推移……14
（４）　国・地域別の延べ宿泊数 構成比……15
（５）　国・地域別の延べ宿泊数 前年伸率・2019 年伸率（単位 %）……15
（６）　外国人宿泊者実人数、訪日外国人、観光目的入国者数の伸び率……16
（７）　平均客室単価および客室収益指数……17
　７-１.　調査対象施設の一部における主要経営指標……17
　７-２.　平均客室単価の 2019 年同月比推移と為替の影響……18
　７-３.　2022 年 12 月の主要都市別主要経営指標　（出典：ＳＴＲ）……18

旅館統計……20

（１）　主要指標の一覧……20
（２）　稼働率の推移、延べ宿泊数の前年同月比・2019 年同月比の推移、外国人比率の推移……21
（３）　月 20 日以上休業した施設の割合……22

市場環境全般……23

（１）　宿泊予約サイトにおける 12 週間先までの客室販売価格の推移……23
（２）　京都観光意向指数（通称：行こう指数）……25
　２-１.　日本人の訪問意向……25
　２-２.　外国人の国際旅行意向……26
（３）　京都市内の宿泊施設数・客室の推移……27
（４）　ビッグデータにもとづく京都市内の人流・滞在状況……28
　４-１.　市内の日本人来街者数の実績……28
　４-２.　年代別の分布……29
（５）　京都市内４百貨店における免税売上げ……30
（６）　京都総合観光案内所（京なび）利用者数 ※JR 京都駅ビル２階……31
（７）　為替レートの推移……32

京都 115 ホテル宿泊状況調査結果 集計表（2022 年 12 月）……33

調査概要

（1） 全体概要

- 京都市内における日本人および外国人の宿泊状況等をタイムリーに把握できるよう、平成26年（2014年）4月以降、京都市内の主な宿泊施設の協力を得て、国・地域別の調査（「実人数」「延べ泊数」「延べ部屋数」）を毎月実施。※全国で唯一の取組（京都市観光協会調べ）。
- なお、本調査では、ビジネス、観光を問わず、日本国籍以外のパスポートを有する人すべてを「外国人」として定義しています。

（2） 調査対象

2022年12月時点	ホテル		旅館	
	施設数	客室数	施設数	客室数
調査対象	115	19,259	26	679
市内全体※1	302	36,074	367	5,311
カバー率	38.1%	53.4%	7.1%	12.8%

※1 平成30年の旅館業法改正にともないホテル・旅館の区分が廃止されたため、市内全体におけるホテルの施設数および客室数は、区分が廃止される直前までの旅館の数値に変動が無いものと仮定して算出している。
※2 前年と本年では対象施設数が異なる場合があるため、今回発表する前年の数値は昨年の発表値と異なる。
※3 P18の客室収益指数（RevPAR）等の数値は、ホテルデータサービス会社STR（本社：イギリス・ロンドン）からの提供によるもので、上記ホテル施設数とは対象が一部異なる。

（3） 分析数値

「販売可能客室数」…日々販売されている客室数の月間累積値を示す。
例）100部屋を有する施設にて、20室が改装工事中、80室を30日間販売していた場合
販売可能客室数：80室×30日＝2,400室
「客室稼働率」… 「販売可能客室数」における「稼働客室数」の割合
「外国人比率」… 「総延べ人数」における「外国人延べ人数」の割合
「構成比」 … 「外国人延べ人数」における「各国・地域の延べ人数」の割合
「伸率」 … 「前年の各国・地域の延べ人数」に対する「本年の各国・地域の延べ人数」の伸率

（4） 新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴う臨時的な休業の扱いについて

調査対象期間（2022年12月1日～12月31日）中、対象施設が臨時的に休業した場合は、通常営業していた期間のみを対象にして客室稼働率を算出します。

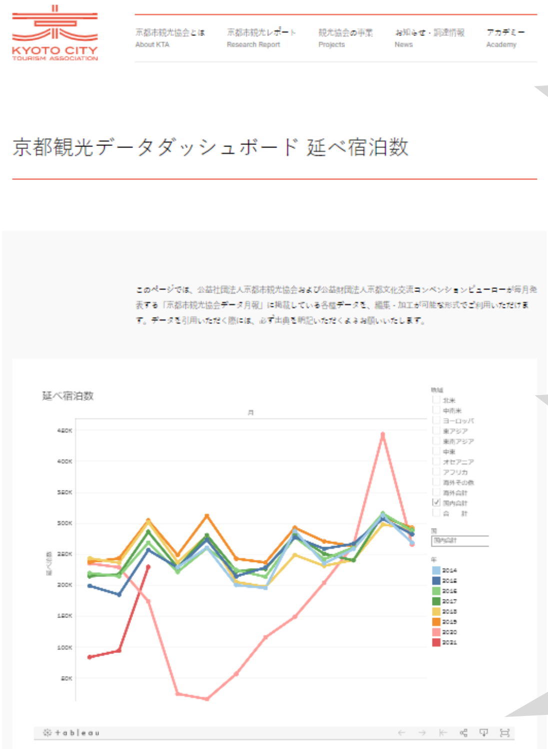
例）100部屋を有する施設が、以下のように営業をしていた場合
① 12月1日～10日期間（10日）は100室のまま通常営業し、利用のあった客室数は200室
② 12月11日～20日期間（10日）は50室に絞って営業し、利用のあった客室数は100室
③ 12月21日～31日の期間（11日）は休業
販売可能客室数： 100室×10日（①期間）＋ 50室×10日（②期間） ＝ 1,500室
客室稼働率 ：利用のあった客室数300室 ÷ 営業期間中の販売可能客室数1,500室 ＝ 20%

調査対象施設における2022年12月（12月1日～12月31日）の臨時休業状況

臨時休業日数	全日休業（31日間）	20日以上～31日未満	10日以上～20日未満	10日未満	休業なし
ホテル施設数	0（0.0%）	0（0.0%）	0（0.0%）	2（1.7%）	113（97.3%）
旅館施設数	1（3.8%）	1（3.8%）	1（3.8%）	6（23.1%）	17（65.4%）

（５）　データ分析用ダッシュボードの提供について

これまでデータ月報で発表してきた各種データを、自由に分析・加工していただける機能（Tableau ダッシュボード）を、京都市観光協会ウェブサイト内にて提供しております。

利用方法	毎月のデータ月報発表ページ下部に、当該機能を利用するための案内メニューを掲載します。 案内に従って料金をお支払いいただくと、ダッシュボードの URL とパスワードをお知らせいたします。 **京都市観光協会の会員、および京都文化交流コンベンションビューローの賛助会員は無料**にてご利用いただけます。同じページ内に設置する専用フォームから、お申込みください。ご入会については、公式ウェブサイトからご確認ください。 ◁　ダッシュボードのご利用申込みは、こちらからお願いいたします。 https://www.kyokanko.or.jp/dashboard
料金	**月額４９０円（税込）** なお、毎月の利用権はデータ月報が発表される日にリセットされます（最新月のデータの追加と同時に、URL とパスワードを変更します）。**毎月末頃の発表日直前にご購入いただいた場合、発表後に改めて翌月分のご購入をいただく必要があります**ので、ご注意ください。
利用可能なデータ	● 延べ宿泊数、実宿泊客数、稼働客室数の 前年同月比の月次推移 ● 客室稼働率の月次推移 ● １部屋当たり宿泊客数、１人当たり宿泊日数の月次推移 ● 国・地域別の延べ宿泊数の 前年同月比の月次推移 ● 平均客室単価および客室収益指数の月次推移 ● 行こう指数の月次推移 ● 市内開業済・開業予定の 宿泊施設の位置情報（Google マイマップ）
分析画面のイメージ	 京都市観光協会の公式サイト上で利用することができます。ログインにはパスワードが必要です。 分析項目によっては、年月などの時点や、国籍・地域などで絞り込んだ表示切替を瞬時に行うことができます。 Excel 形式等でダウンロードすることができ、用途に合わせて自由に分析、デザイン加工などをしていただくことができます。

（6） その他

- 京都市観光協会データ月報は、調査対象施設のみなさまのご協力、ならびに京都市観光協会会員および京都文化交流コンベンションビューロー賛助会員からの会費をもとに運営しております。

- 本資料の数値を引用する場合は、「出典：京都市観光協会データ月報」を明示してください。ただし、P18 の STR データについては、STR の書面による許諾を伴わない再出版もしくは二次使用は固く禁じられています。報道・メディア媒体への掲載については、（公社）京都市観光協会（担当：堀江）までお問合せください。

- 各種数値は、データ提供元である宿泊施設等からの訂正等により、後日予告なく修正される場合があります。原則として、後から発表される数値を正しいものとして利用いただくようお願いいたします。

- 京都市全体の観光動向の把握については、ほぼすべての市内宿泊施設（旅館業法許可施設）を対象とする「京都観光総合調査」（京都市から年 1 回発表）が基本指標となります。当調査は、インバウンドマーケットの傾向を把握するための、京都市内の主な宿泊施設を対象とする標本調査であるため、その他ホテルや旅館、簡易宿所、いわゆる「民泊」等に宿泊した外国人客は含まれておらず、訪日外客数（日本全体）との比較等も参考分析という位置づけとなります。

- ご協力いただいている本調査対象ホテルには、エリア・客室数・ADR などに分類集計したデータ、日毎稼働率の実績・予約データ（いづれも非公開）を毎月ご提供しております。調査参画をご希望の場合は、下記までお問合せください。

＜本件に関する問い合わせ先＞

公益社団法人京都市観光協会

TEL：075-213-0070　e-mail：marketing@kyokanko.or.jp

担当：企画推進課　 神田、堀江

（1）　主要指標の一覧

指標	2022年 12月	2022年 11月	前月 伸率・差	2021年 12月	前年同月 伸率・差	2019年 12月	2019年 同月 伸率・差
調査・集計時点	2022年 12月	2022年 11月	―	2022年 12月	―	2020年 12月	―
調査対象施設数	115	112	―	115	―	68	―
販売可能客室数	596,711 室	569,966 室	△ 4.7%	568,741 室	△ 4.9%	382,105 室	△56.2%
稼働客室数	437,993 室	457,246 室	▼ 4.2%	304,205 室	△44.0%	290,809 室	△50.6%
客室稼働率	73.4 %	80.2 %	▼6.8pts	53.5 %	△19.9pts	76.1 %	▼2.7pts
日本人延べ宿泊数	584,348 泊	653,643 泊	▼10.6%	508,107 泊	△15.0%	290,235 泊	△101.3%
外国人延べ宿泊数	191,817 泊	146,282 泊	△31.1%	2,201 泊	△8615.0%	235,446 泊	▼18.5%
総延べ宿泊数	776,165 泊	799,925 泊	▼ 3.0%	510,308 泊	△52.1%	525,681 泊	△47.6%
外国人比率	24.7 %	18.3 %	△6.4pts	0.4 %	△24.3pts	44.8 %	▼20.1pts
1部屋当たり宿泊客数	1.77 人	1.75 人	△0.02 人	1.68 人	△0.09 人	1.81 人	▼0.04 人
1人当たり宿泊日数	1.95 泊	1.90 泊	△0.04 泊	1.66 泊	△0.28 泊	1.84 泊	△0.10 泊

注）過去の調査回答数値に誤りがあった為、2019年の値は発表当時の値から訂正しております。また、集計過程で補正処理を行っている都合上、各種指標には小数点以下の端数が発生しており、伸率・差の値は上記の整数値で計算した場合と必ずしも一致しない場合があります。

コロナ禍前からの調査対象かつ開業済みであった施設のみに絞った場合の主要指標

指標	2022年 12月	2022年 11月	前月 伸率・差	2021年 12月	前年同月 伸率・差	2019年 12月	2019年 同月 伸率・差
調査・集計時点	2022年 12月	2022年 11月	―	2022年 12月	―	2020年 12月	―
調査対象施設数	57	57	―	57	―	57	―
販売可能客室数	377,682 室	368,158 室	△ 2.6%	377,766 室	▼0.0%	369,860 室	△ 2.1%
稼働客室数	285,122 室	300,363 室	▼ 5.1%	201,116 室	△41.8%	280,986 室	△ 1.5%
客室稼働率	75.5 %	81.6 %	▼6.1pts	53.2 %	△22.3pts	76.0 %	▼0.5pts
日本人延べ宿泊数	383,629 泊	438,308 泊	▼12.5%	341,163 泊	△12.4%	284,588 泊	△34.8%
外国人延べ宿泊数	123,902 泊	92,883 泊	△33.4%	1,483 泊	△8254.8%	223,918 泊	▼44.7%
総延べ宿泊数	507,531 泊	531,191 泊	▼ 4.5%	342,646 泊	△48.1%	508,506 泊	▼ 0.2%
外国人比率	24.4 %	17.5 %	△6.9pts	0.4 %	△24.0pts	44.0 %	▼19.6pts
1部屋当たり宿泊客数	1.78 人	1.77 人	△0.01 人	1.70 人	△0.08 人	1.81 人	▼0.03 人
1人当たり宿泊日数	1.89 泊	1.80 泊	△0.10 泊	1.61 泊	△0.29 泊	1.84 泊	△0.06 泊

注）過去の調査回答数値に誤りがあった為、2019年の値は発表当時の値から訂正しております。また、集計過程で補正処理を行っている都合上、各種指標には小数点以下の端数が発生しており、伸率・差の値は上記の整数値で計算した場合と必ずしも一致しない場合があります。

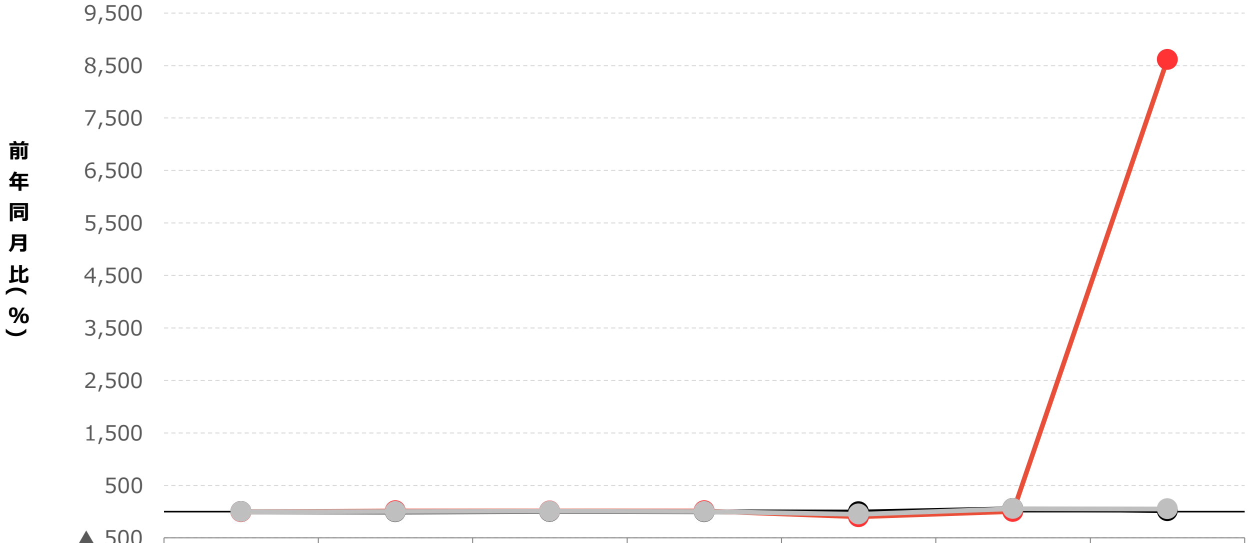
【参考】京都市全体および日本全体との比較（単位 %）

年	月	客室稼働率			延べ宿泊数 前年比			延べ宿泊数 外国人比率		
		ホテル統計	京都市全体	日本全体	ホテル統計	京都市全体	日本全体	ホテル統計	京都市全体	日本全体
2020	1	66.8	57.3	62.3	△6.0	△89.8	△1.1	49.9	43.9	22.5
	2	54.3	49.2	59.9	▼28.7	△27.8	▼14.0	28.5	28.3	13.0
	3	29.6	31.6	35.9	▼64.2	▼33.9	▼53.2	14.2	15.8	4.7
	4	6.1	6.6	17.2	▼94.8	▼89.8	▼80.9	4.2	4.2	2.1
	5	8.1	5.6	13.6	▼96.0	▼92.2	▼84.9	0.8	3.0	1.7
	6	14.6	14.1	24.8	▼86.8	▼76.7	▼68.9	0.7	2.4	1.3
	7	20.0	20.7	32.5	▼74.6	▼59.7	▼58.3	0.5	1.6	1.0
	8	23.4	22.1	34.7	▼70.2	▼53.4	▼58.6	0.4	1.0	0.8
	9	32.6	30.6	40.3	▼55.5	▼33.6	▼46.6	0.4	0.8	0.7
	10	40.6	38.1	48.5	▼41.4	▼26.3	▼35.2	0.4	0.9	0.8
	11	63.3	57.3	52.8	▼9.9	△8.6	▼30.5	0.6	1.2	1.3
	12	39.0	36.9	42.5	▼37.8	▼19.7	▼40.9	0.7	1.1	1.8
2021	1	13.4	14.4	26.2	▼79.2	▼77.3	▼59.9	1.6	2.2	2.6
	2	19.7	19.2	30.5	▼61.8	▼64.9	▼52.9	0.6	0.8	1.2
	3	31.4	32.1	40.2	△25.8	△2.4	△14.0	1.3	2.1	1.0
	4	21.1	20.9	35.8	△384.9	△228.3	△131.2	0.7	0.8	1.0
	5	14.0	13.5	30.1	△360.7	△194.4	△163.0	0.6	0.8	1.2
	6	19.7	18.4	32.4	△92.7	△42.7	△37.6	0.5	0.8	1.2
	7	30.1	28.7	43.4	△87.7	△46.4	△38.6	0.5	0.9	2.5
	8	26.6	25.2	40.5	△34.4	△9.2	△18.5	0.5	1.0	1.9
	9	27.1	24.2	35.2	▼13.1	▼30.5	▼13.8	0.5	0.6	1.2
	10	38.8	34.1	46.7	▼2.9	▼19.0	▼2.6	0.6	0.8	0.9
	11	58.9	55.4	54.1	△1.6	▼8.0	△5.4	0.5	0.7	0.9
	12	55.2	48.2	54.1	△55.6	△36.8	△40.0	0.4	0.7	0.8
2022	1	32.7	29.1	39.2	△187.2	△104.3	△64.5	0.3	0.6	0.8
	2	31.9	27.9	38.4	△99.0	△43.7	△32.0	0.4	0.6	0.9
	3	44.8	41.3	47.5	△54.0	△34.4	△22.6	0.6	1.1	1.0
	4	47.1	42.7	50.5	△161.1	△111.3	△49.9	1.0	1.0	1.6
	5	49.9	45.9	51.2	△348.4	△272.9	△79.4	1.2	1.6	1.8
	6	51.0	46.3	53.3	△232.3	△189.3	△75.9	1.7	1.5	1.8
	7	47.2	44.8	54.8	△69.3	△75.2	△33.2	2.4	2.1	1.7
	8	49.2	46.5	57.9	△112.0	△99.4	△53.2	3.5	2.4	1.5
	9	54.4	52.1	57.1	△134.0	△144.6	△75.7	3.9	3.1	2.1
	10	63.7	57.6	61.5	△88.5	△79.9	△40.2	13.7	9.7	4.8
	11	80.2	-	-	△48.4	-	-	18.3	-	-
	12	73.4	-	-	△138.0	-	-	24.7	-	-

注）京都市全体および日本全体の値は、観光庁　宿泊旅行統計　２次速報値をもとに集計
注）過去の調査回答値に誤りがあった為、ホテル統計の各項目の値について発表当時の値から訂正しております

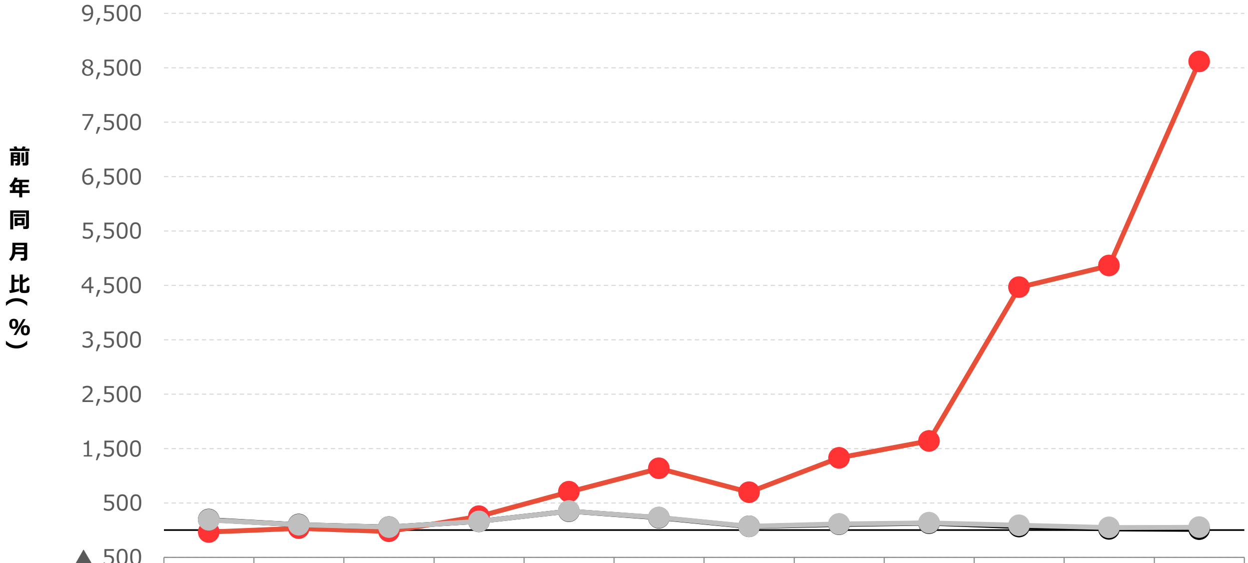
（2） 延べ宿泊数 前年同月比の推移

延べ宿泊数の前年同月比 年次推移



	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12
日本人客	▼1.0	▼6.3	△0.6	▼4.6	▼6.4	△56.0	△15.0
外国人客	▼4.0	△13.5	△11.1	△11.7	▼99.6	△1.9	△8,615.0
総宿泊客	▼2.0	△0.5	△4.7	△2.1	▼48.2	△55.6	△52.1

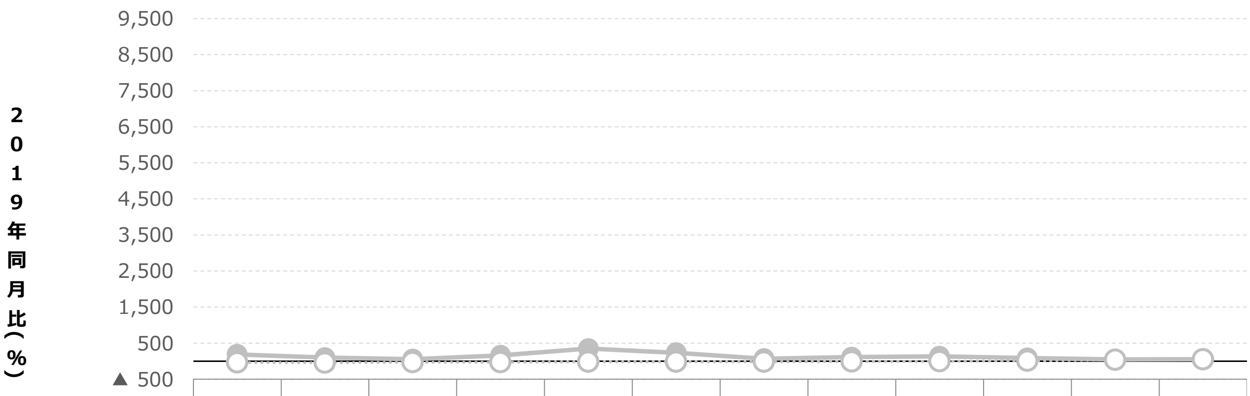
延べ宿泊数の前年同月比 直近 12 か月 月次推移



	2022/01	2022/02	2022/03	2022/04	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09	2022/10	2022/11	2022/12
日本人客	△190.8	△99.4	△55.0	△160.5	△346.1	△228.2	△66.1	△105.6	△126.0	△63.5	△21.9	△15.0
外国人客	▼36.8	△32.9	▼23.9	△253.3	△703.2	△1,134.5	△697.5	△1,328.8	△1,639.0	△4,464.9	△4,863.8	△8,615.0
総宿泊客	△187.2	△99.0	△54.0	△161.1	△348.4	△232.3	△69.3	△112.0	△133.9	△88.5	△48.4	△52.1

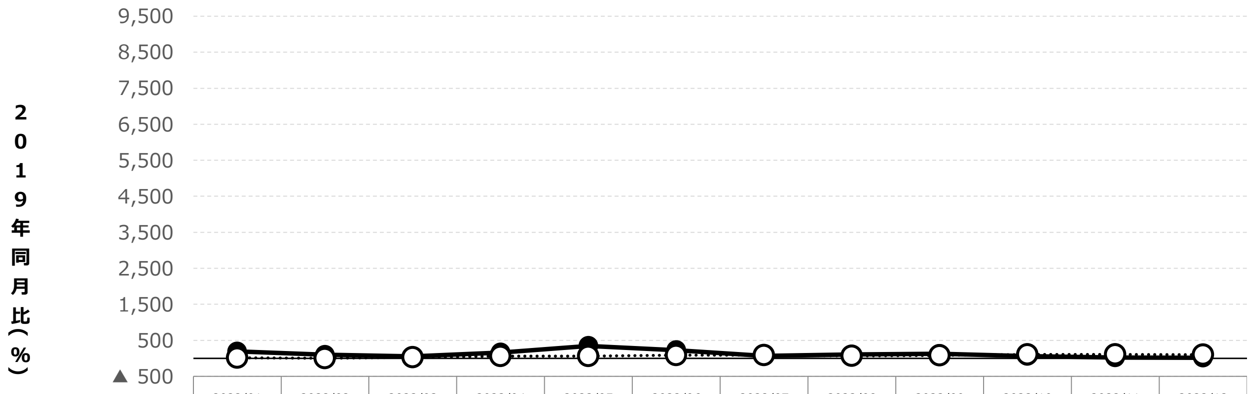
【参考】2019 年との比較

総延べ宿泊数の 2019 年同月比　月次推移



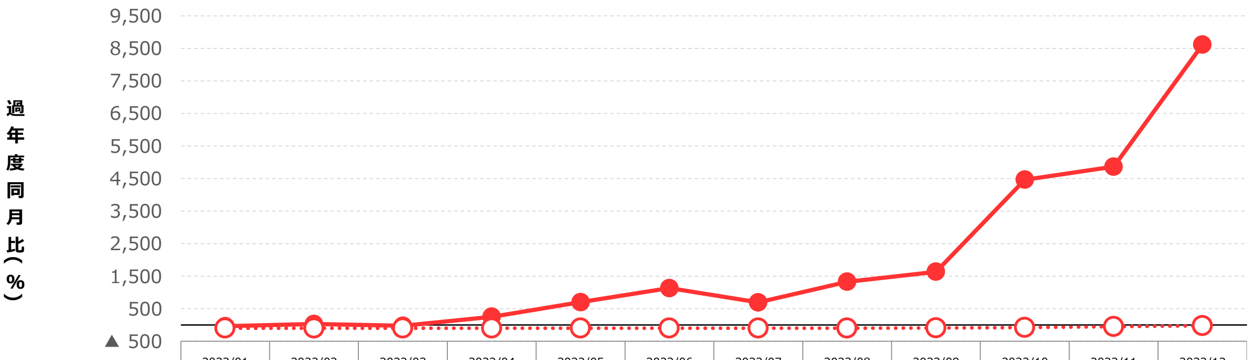
	2022/01	2022/02	2022/03	2022/04	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09	2022/10	2022/11	2022/12
総宿泊客（前年比）	△187.2	△99.0	△54.0	△161.1	△348.4	△232.3	△69.3	△112.0	△133.9	△88.5	△48.4	△52.1
総宿泊客（2019年比）	▼36.6	▼45.8	▼30.6	▼34.4	▼17.5	▼15.5	▼19.2	▼14.9	▼7.5	△6.4	△35.3	△47.6

日本人延べ宿泊数の 2019 年同月比　月次推移



	2022/01	2022/02	2022/03	2022/04	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09	2022/10	2022/11	2022/12
日本人客（前年比）	△190.8	△99.4	△55.0	△160.5	△346.1	△228.2	△66.1	△105.6	△126.0	△63.5	△21.9	△15.0
日本人客（2019年比）	△15.4	△0.1	△31.0	△62.5	△60.6	△85.5	△84.8	△68.0	△77.3	△106.4	△107.2	△101.3

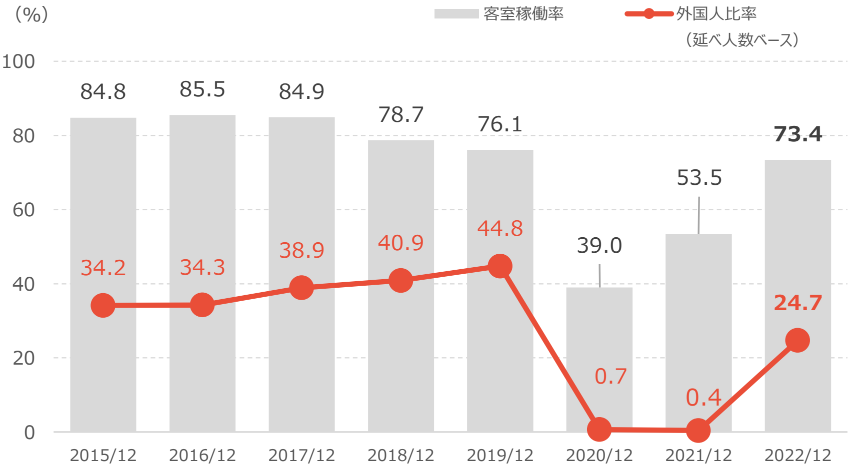
外国人延べ宿泊数の 2019 年同月比　月次推移

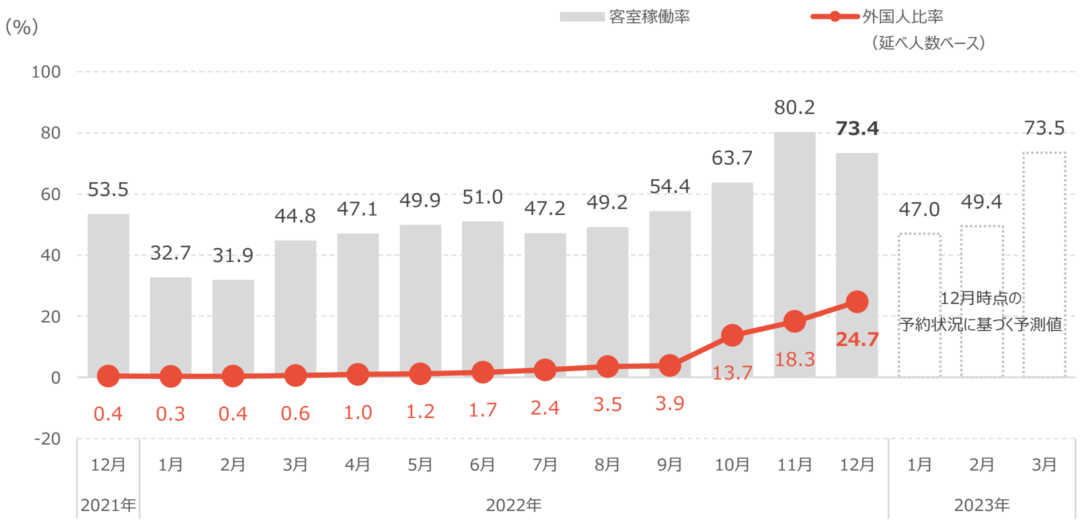


	2022/01	2022/02	2022/03	2022/04	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09	2022/10	2022/11	2022/12
外国人客（前年比）	▼ 36.8	△32.9	▼ 23.9	△253.3	△703.2	△1,134.5	△697.5	△1,328.8	△1,639.0	△4,464.9	△4,863.8	△8,615.0
外国人客（2019年比）	▼ 99.5	▼ 99.6	▼ 99.1	▼ 99.0	▼ 98.1	▼ 97.4	▼ 96.6	▼ 94.1	▼ 92.8	▼ 73.7	▼ 46.9	▼ 18.5

（3） 客室稼働率･外国人比率の推移

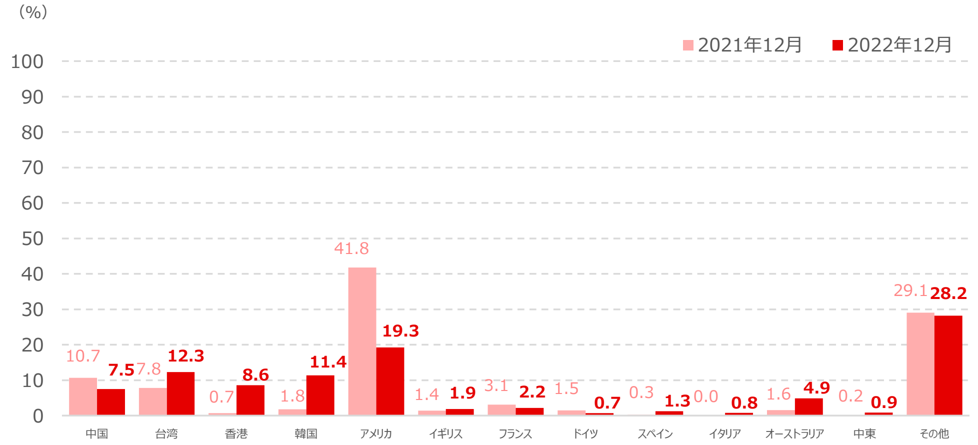
- 京都市内主要ホテル 115 施設における 2022 年 12 月の客室稼働率は 73.4%となった。前月（11 月）の 80.2%からは 6.8 ポイント減、前年同月の 53.5%からは 19.9 ポイント増となった。入国規制の緩和や、「全国旅行支援」による下支え、年末年始休暇の影響が重なったことで、コロナ禍前 2019 年 12 月の 76.1%に迫る水準にまで稼働が高まった。その差はわずか 2.7 ポイントであり、コロナ禍となってから 2019 年同月からの減少幅が最も小さくなった。
- 12 月時点の今後の客室稼働率の予測値は、1 月 47.0%、2 月 49.4%、3 月 73.5%となった。コロナ禍前の同時期の稼働率（実績）が、2019 年 1 月 65.6%、2019 年 2 月 78.5%、2019 年 3 月 85.0%であったことを踏まえると、依然としてコロナ禍前の水準には達しない見込みである。例年、春節の影響で中華圏からの旅行者が増加する時期ではあるが、日中両国間での入国規制が強化されているため、今年の春節における観光への影響は限定的なものに留まるとみられる。
ただし、近距離からの旅行者は燃油サーチャージの高騰の影響を受けにくいため、春頃までは台湾や韓国など中国以外の東アジア市場が回復を牽引する状態が続くと思われる。



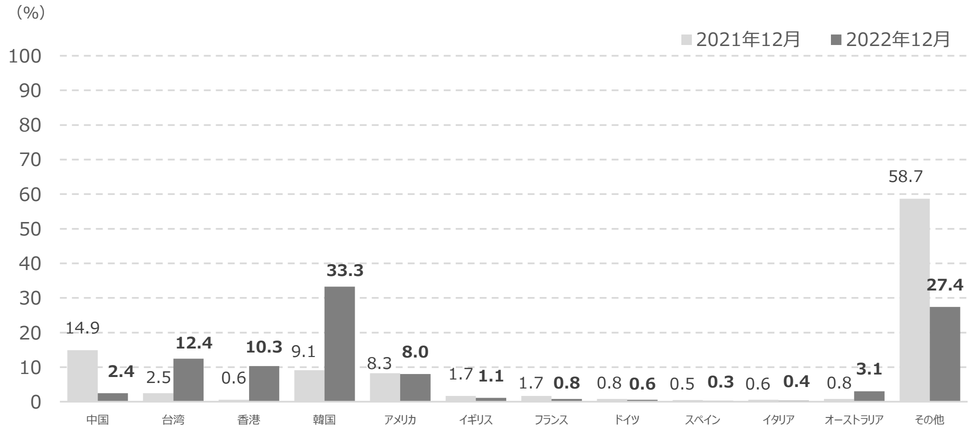


注）客室稼働率の予測は、調査対象施設の一部における「1 か月後」「2 か月後」「3 か月後」の客室予約状況の前年比データを 2017 年から収集し、実際の客室稼働率と照らし合わせることで、予測モデルを作成して算出している。
注）過去の調査回答数値に誤りがあった為、2020 年以前の値について発表当時の値から訂正しております

（4）　国･地域別の延べ宿泊数　構成比



【参考】 訪日外客数･構成比（国･地域別）（実人数）　　出典：日本政府観光局（JNTO）



（5）　国･地域別の延べ宿泊数　前年伸率･2019 年伸率（単位　%）

	京都主要ホテル		京都主要ホテル（2019 年から調査対象施設のみ）		訪日外客（JNTO）	
	前年伸率	2019 年伸率	前年伸率	2019 年伸率	前年伸率	2019 年伸率
中国	△ 6,002.5	▼ 80.5	△ 6,667.7	▼ 87.5	△ 1,761.1	▼ 95.3
台湾	△ 13,697.1	△ 7.6	△ 24,057.8	▼ 25.1	△ 56,633.3	▼ 51.1
香港	△ 109,880.0	△ 35.8	△ 145,150.0	△ 0.0	△ 201,757.1	▼ 43.4
韓国	△ 55,897.4	△ 243.9	△ 53,880.8	△ 126.4	△ 41,363.6	△ 83.9
アメリカ	△ 3,929.2	△ 16.2	△ 3,040.8	▼ 24.1	△ 10,850.0	▼ 24.2
イギリス	△ 12,163.3	▼ 27.7	△ 27,000.0	▼ 55.3	△ 7,550.0	▼ 44.9
フランス	△ 5,927.5	△ 43.0	△ 6,252.0	▼ 40.4	△ 5,300.0	▼ 46.7
ドイツ	△ 4,120.6	▼ 29.0	△ 8,550.0	▼ 50.1	△ 7,600.0	▼ 43.5
スペイン	△ 35,257.1	▼ 22.2	△ 160,700.0	▼ 41.1	△ 5,733.3	▼ 52.0
イタリア	△ 157,700.0	▼ 44.8	△ 100.0	▼ 62.8	△ 6,900.0	▼ 56.2
オーストラリア	△ 25,855.6	▼ 38.4	△ 53,090.9	▼ 57.5	△ 41,700.0	▼ 42.5
中東	△ 42,975.0	▼ 21.5	△ 32,766.7	▼ 50.9	未発表	未発表

（６） 外国人宿泊者実人数、訪日外国人、観光目的入国者数の伸び率

- 京都市内主要ホテル 115 施設における 2022 年 12 月の外国人宿泊客実人数は 71,508 人となり、前月 11 月の 52,220 人から 36.9%増となった（ただし、調査対象施設が異なる為、比較には留意が必要である。また、本調査には日本在住外国人も含まれている）。
- JNTO が発表した訪日外国人数は 137 万人と 11 月比で 46.6%増であり、訪日外国人数の増加に連動する形で、京都市内での宿泊数も増加している。

外国人宿泊者数（実人数）、訪日外国人数、観光目的入国者数の伸び率の比較

		調査施設数	外国人宿泊客実人数※	前月比	2019年同月比	訪日外国人数（JNTO）	前月比	2019年同月比	観光目的入国者数（出入国在留管理庁）	前月比
2022	1月	101	446	-66.9%	-99.5%	17,800	47.1%	-99.3%		
2022	2月	104	417	-6.5%	-99.6%	16,700	-6.2%	-99.4%		
2022	3月	109	1,559	273.9%	-98.8%	66,100	295.8%	-97.6%		
2022	4月	108	1,658	6.4%	-98.9%	139,500	111.0%	-95.2%		
2022	5月	109	2,313	39.5%	-98.1%	147,000	5.4%	-94.7%		
2022	6月	108	2,848	23.1%	-98.0%	120,400	-18.1%	-95.8%	252	
2022	7月	111	4,476	57.2%	-96.9%	144,500	20.0%	-95.2%	7,903	3036.1%
2022	8月	111	4,574	2.2%	-96.5%	169,800	17.5%	-93.3%	10,826	37.0%
2022	9月	114	6,841	49.6%	-94.4%	206,500	21.6%	-90.9%	19,013	75.6%
2022	10月	116	29,772	335.2%	-79.1%	498,600	141.5%	-80.0%	288,936	1419.7%
2022	11月	112	52,220	75.4%	-53.5%	934,500	87.4%	-61.7%	732,311	153.5%
2022	12月	115	71,508	36.9%	-19.0%	1,370,000	46.6%	-45.8%	1,194,747	63.1%

※日本在住外国人含む

出典）日本政府観光局（JNTO）、出入国在留管理庁

（７） 平均客室単価および客室収益指数

７-１． 調査対象施設の一部における主要経営指標

- 平均客室単価は 16,376 円となり、前年同月の 13,162 円からは 24.4%増、2019 年同月の 13,825 円からは 18.5%増となった。
- 客室収益指数（平均客室単価に客室稼働率を乗じた指標で、１室あたりの売上高に相当する）は 12,020 円となり、前年同月の 7,042 円から 70.7%増、2019 年同月の 10,521 円からは 14.2%増となった。
- 稼働率、客室平均単価、客室収益指数と全ての指数が前年同月から上昇した。客室平均単価、客室収益指数が 2019 年比で増加に転じたのは、コロナ禍以後では初めてである。宿泊需要の高まりや、世界的な物価上昇や燃料価格の高騰、稼働率の改善に伴う人件費の増加を受けて、利益確保のために販売価格を引き上げる施設が増えていると考えられる。

月別の客室平均単価

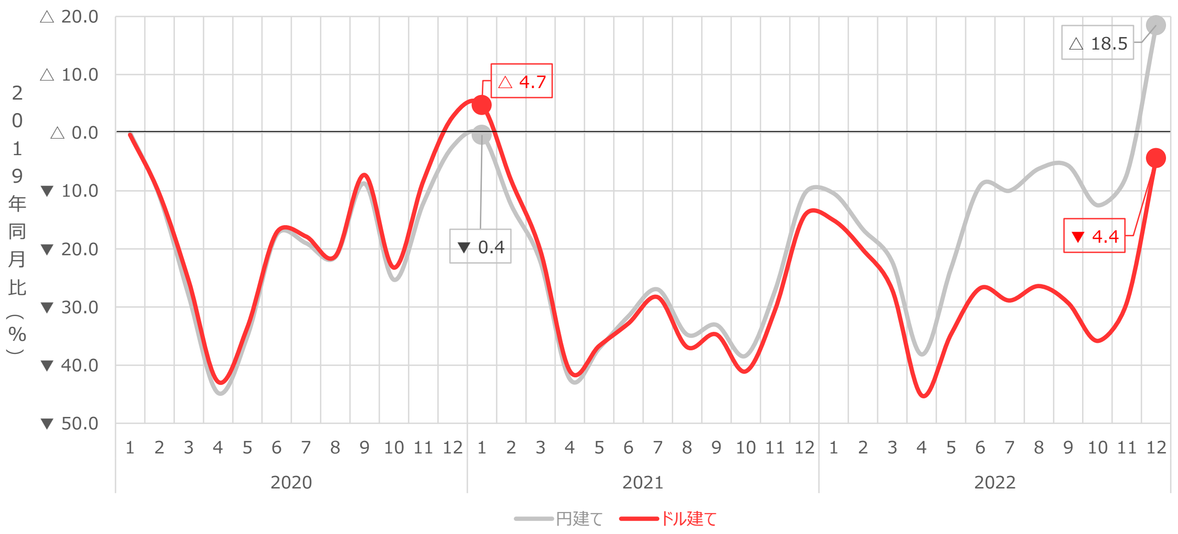
		本年（円）	前年（円）	前年比（%）	2019年（円）	2019年比（%）
2022年	1月	11,384	11,946	▼ 4.7	12,712	▼ 10.4
2022年	2月	10,524	10,672	▼ 1.4	12,628	▼ 16.7
2022年	3月	13,357	12,969	△ 3.0	17,185	▼ 22.3
2022年	4月	13,818	12,554	△ 10.1	22,341	▼ 38.1
2022年	5月	13,269	10,365	△ 28.0	17,318	▼ 23.4
2022年	6月	11,981	9,646	△ 24.2	13,181	▼ 9.1
2022年	7月	12,571	10,226	△ 22.9	13,966	▼ 10.0
2022年	8月	12,981	9,953	△ 30.4	13,838	▼ 6.2
2022年	9月	12,427	9,351	△ 32.9	13,175	▼ 5.7
2022年	１０月	14,647	11,097	△ 32.0	16,739	▼ 12.5
2022年	１１月	18,746	15,104	△ 24.1	20,186	▼ 7.1
2022年	１２月	16,376	13,162	△ 24.4	13,825	△ 18.5

月別の客室収益指数

		本年（円）	前年（円）	前年比（%）	2019年（円）	2019年比（%）
2022年	1月	3,723	1,601	△ 132.5	8,339	▼ 55.4
2022年	2月	3,357	2,102	△ 59.7	9,913	▼ 66.1
2022年	3月	5,984	4,072	△ 46.9	14,607	▼ 59.0
2022年	4月	6,508	2,649	△ 145.7	20,085	▼ 67.6
2022年	5月	6,621	1,451	△ 356.3	14,391	▼ 54.0
2022年	6月	6,110	1,900	△ 221.6	10,518	▼ 41.9
2022年	7月	5,934	3,078	△ 92.8	10,768	▼ 44.9
2022年	8月	6,387	2,647	△ 141.2	11,499	▼ 44.5
2022年	9月	6,760	2,478	△ 172.8	10,922	▼ 38.1
2022年	１０月	9,330	4,306	△ 116.7	14,412	▼ 35.3
2022年	１１月	15,034	8,896	△ 69.0	17,844	▼ 15.7
2022年	１２月	12,020	7,042	△ 70.7	10,521	△ 14.2

7-2. 平均客室単価の 2019 年同月比推移と為替の影響

- 2022 年 12 月の平均客室単価の 2019 年同月比は、日本円建てで計算すると 18.5%増となった。しかしながら、米国ドル建てで換算した場合は 4.4%減と、コロナ禍前の水準をわずかに下回っている。入国規制緩和にともない、外国人観光客による宿泊需要が増加しつつあるが、日本人客と外国人客で客室価格に対する評価が変わる（外国人客にとっては、コロナ禍前よりも割安に感じる状態である）ことに留意が必要である。



7-3. 2022 年 12 月の主要都市別主要経営指標 （出典：ＳＴＲ）

STRとの契約の都合上、過去のデータについては

非公開とさせていただきます。

何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

STRとの契約の都合上、過去のデータについては
非公開とさせていただきます。
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

（1） 主要指標の一覧

- 市内主要旅館 26 施設における 12 月の稼働率は 67.3%となり、前月（11 月）の 69.2%から 1.9 ポイント減、前年同月の 47.7%から 19.6 ポイント増、コロナ禍前である 2019 年同月の 62.9%から 4.4 ポイント増となった。修学旅行の催行が続いていることや外国人の宿泊数も増加したことで稼働率が高まった。

旅館統計

	2022年12月	2022年11月	前月比・差	2021年12月	前年同月比・差	2019年12月	2019年同月比・差
調査対象施設数	26	28		29		26	
販売可能客室数（1カ月の延べ数）	18,893	19,226	▼ 1.7%	18,688	△ 1.1%	20,085	▼ 5.9%
稼働客室数（月間）	12,713	13,296	▼ 4.4%	8,917	△ 42.6%	12,635	△ 0.6%
客室稼働率	67.3%	69.2%	▼ 1.9	47.7%	△ 19.6	62.9%	△ 4.4
総延べ宿泊数	45,094	48,163	▼ 6.4%	33,346	△ 35.2%	50,291	▼ 10.3%
総実宿泊客数	25,781	32,745	▼ 21.3%	21,691	△ 18.9%	28,968	▼ 11.0%
一部屋当たり客数	3.55	3.62	▼ 0.08	3.74	▼ 0.19	3.98	▼ 0.43
一人当たり宿泊日数	1.75	1.47	△ 0.28	1.54	△ 0.21	1.74	△ 0.01
日本人延べ宿泊数	40,989	44,731	▼ 8.4%	33,325	△ 23.0%	45,410	▼ 9.7%
日本人実宿泊客数	23,192	30,205	▼ 23.2%	21,670	△ 7.0%	26,168	▼ 11.4%
一人当たり宿泊日数（日本人）	1.77	1.48	△ 0.29	1.54	△ 0.23	1.74	△ 0.03
外国人延べ宿泊数	4,105	3,432	△ 19.6%	21	△ 19447.6%	4,881	▼ 15.9%
外国人実宿泊客数	2,590	2,540	△ 2.0%	21	△ 12232.6%	2,799	▼ 7.5%
一人当たり宿泊日数（外国人）	1.59	1.35	△ 0.23	1.00	△ 0.59	1.74	▼ 0.16
外国人比率	9.1%	7.1%	△ 2.0	0.1%	△ 9.0	9.7%	▼ 0.6
2019年同月からの価格変動率	▼ 0.8%	△ 3.7%	▼ 4.5	-	-	-	-

注）旅館の価格変動率は、食事無しの素泊まりの場合の価格をもとに算出している

前月（2022 年 11 月)、前年同月(2021 年 12 月)の値は当時の発表数値であり、調査対象施設数が異なる為、比較する際には注意が必要である。

注）集計過程で補正処理を行っている都合上、各種指標には小数点以下の端数が発生しており、伸率・差の値は上記の整数値で計算した場合と必ずしも一致しない場合があります。

（2） 稼働率の推移、延べ宿泊数の前年同月比・2019 年同月比の推移、外国人比率の推移

稼働率の推移

	2022年	2021年	2020年	2019年
1月	18.8%	5.8%	-	-
2月	14.9%	4.3%	-	-
3月	27.9%	17.9%	-	-
4月	30.4%	3.9%	2.1%	79.2%
5月	64.0%	3.0%	2.0%	77.6%
6月	62.5%	11.2%	7.6%	69.9%
7月	37.6%	23.5%	8.8%	50.4%
8月	25.8%	9.0%	15.9%	47.3%
9月	59.8%	11.5%	28.2%	61.1%
10月	60.0%	45.1%	37.0%	70.0%
11月	69.2%	59.0%	52.8%	71.3%
12月	67.3%	47.7%	26.8%	62.9%

注）2019 年の稼働率は、2022 年 4 月から 2019 年同月分を調査開始した為、全てのデータが揃っていない

延べ宿泊数　前年同月比・2019年同月比

	日本人客（前年同月比）	外国人客（前年同月比）	総宿泊客（前年同月比）	日本人客（2019年同月比）	外国人客（2019年同月比）	総宿泊客（2019年同月比）
2022年　1月	△ 461.2%	-	△ 461.3%	-	-	-
2022年　2月	△ 624.2%	△ 233.3%	△ 622.2%	-	-	-
2022年　3月	△ 143.5%	△ 237.5%	△ 143.6%	-	-	-
2022年　4月	△ 790.4%	△ 406.3%	△ 787.0%	▼ 54.3%	▼ 99.3%	▼ 65.5%
2022年　5月	△ 8330.8%	△ 1966.7%	△ 8305.0%	△ 0.0%	▼ 98.8%	▼ 7.4%
2022年　6月	△ 1240.1%	△ 2466.7%	△ 1241.0%	▼ 0.7%	▼ 98.1%	▼ 7.4%
2022年　7月	△ 65.0%	△ 784.6%	△ 65.6%	△ 32.7%	▼ 98.8%	▼ 10.9%
2022年　8月	△ 195.6%	△ 606.3%	△ 197.5%	▼ 57.5%	▼ 98.5%	▼ 67.4%
2022年　9月	△ 2155.2%	△ 9350.0%	△ 2163.0%	△ 9.4%	▼ 95.2%	▼ 0.4%
2022年　10月	△ 30.8%	△ 19250.0%	△ 33.2%	▼ 7.5%	▼ 83.9%	▼ 14.9%
2022年　11月	△ 8.5%	△ 5435.5%	△ 16.7%	▼ 2.7%	▼ 48.5%	▼ 8.5%
2022年　12月	△ 23.0%	△ 19447.6%	△ 35.2%	▼ 9.7%	▼ 15.9%	▼ 10.3%

注）2019 年同月比は、2022 年 4 月から 2019 年同月分を調査開始した為、全てのデータが揃っていない。

外国人比率

	2022年	2021年	2020年	2019年
1月	0.0%	0.0%	-	-
2月	0.2%	0.5%	-	-
3月	0.2%	0.1%	-	-
4月	0.5%	0.9%	6.3%	24.9%
5月	0.1%	0.4%	3.6%	7.5%
6月	0.1%	0.1%	0.3%	6.9%
7月	0.5%	0.1%	0.7%	33.2%
8月	1.1%	0.5%	0.3%	24.1%
9月	0.5%	0.1%	0.0%	9.4%
10月	1.8%	0.0%	0.0%	9.7%
11月	7.1%	0.2%	0.8%	12.7%
12月	9.1%	0.1%	2.2%	9.7%

注）2019 年の当該項目は、2022 年 4 月から 2019 年同月分を調査開始した為、全てのデータが揃っていない

（3） 月 20 日以上休業した施設の割合

- 市内主要旅館 28 施設における月 20 日以上休業した施設の割合は 7.7%となった。感染症拡大が落ち着いたことや修学旅行の催行シーズンとなったことから、通常の営業状況に戻った施設が多かったが、一部の施設では人手不足の為に休業日を設けていた。

月20日以上休業した施設の割合

	2022年	2021年	2020年	2019年
1月	37.9%	3.4%	-	-
2月	41.9%	9.7%	-	-
3月	23.3%	13.3%	-	-
4月	14.8%	-	-	3.7%
5月	6.9%	71.9%	3.1%	3.4%
6月	0.0%	50.0%	6.3%	3.7%
7月	17.9%	31.3%	12.5%	7.1%
8月	14.3%	25.0%	15.6%	3.6%
9月	7.1%	62.5%	3.1%	3.6%
10月	4.2%	19.4%	6.5%	4.2%
11月	3.6%	6.9%	10.3%	0.0%
12月	7.7%	13.8%	13.8%	0.0%

注）2019 年の当該項目は、2022 年 4 月から 2019 年同月分を調査開始した為、全てのデータが揃っていない
また、2021 年 4 月および 2020 年 4 月は、当該項目の調査を行っていなかったため、データはありません。

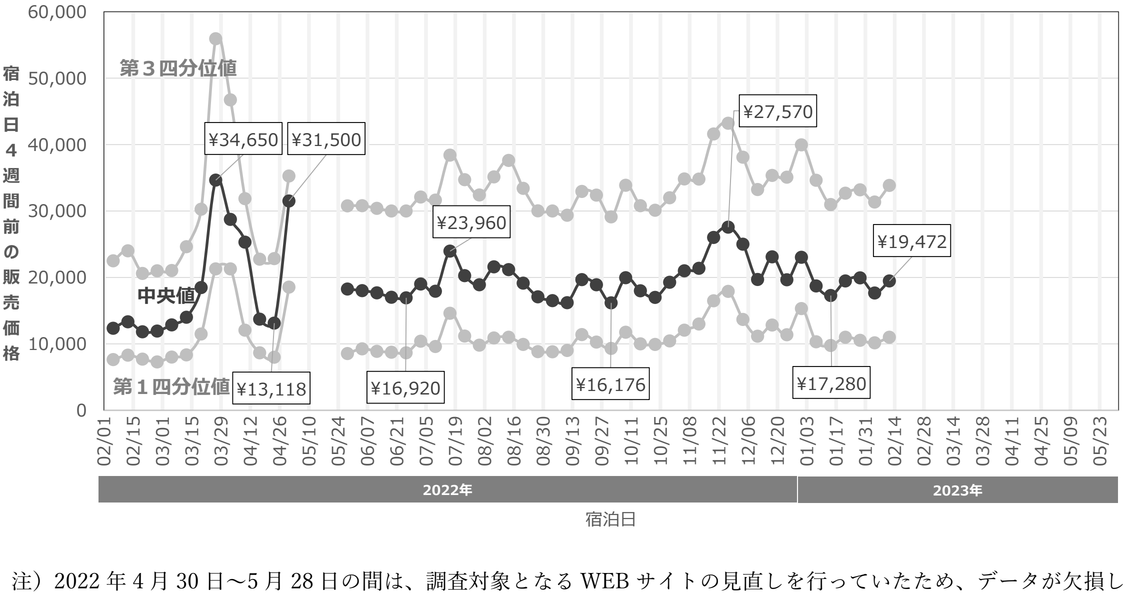
（1） 宿泊予約サイトにおける 12 週間先までの客室販売価格の推移

- 京都市内宿泊施設の 12 週間先までの客室販売価格は、ほぼ前年同期を上回る水準で推移している。特に、3 月 4 月は 3 万円～4 万円台にまで達している。

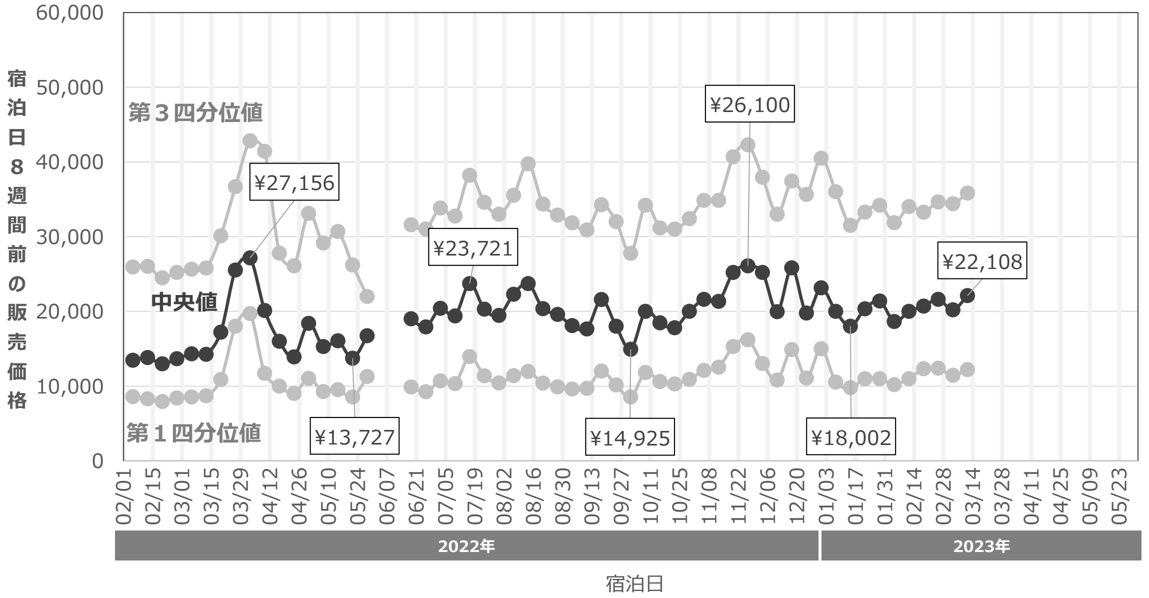
調査期間	概ね毎週火曜日に価格検索を実施 検索日の週末から、12 週先の週末までの 12 回分のデータを取得
調査対象	Booking.com およびトラベルコで京都市内のホテル・旅館・簡易宿所等の宿泊施設を検索したときに表示される価格（2022 年 12 月 5 日までは Booking.com、2022 年 12 月 26 日以降はトラベルコで集計している為、調査対象施設が異なる場合があり、比較する際には注意が必要）
検索条件	「1 室 2 名食事なし、税抜価格、毎週土曜日にチェックインし翌日の日曜日にチェックアウト」の条件で表示される価格を集計。
集計条件	異常に高額な施設（外れ値）の影響を回避するため、平均値ではなく中央値を算出。 予約サイトに掲載されている価格は、最終的に購入されなかった客室の価格も含まれることになる。一方で、P18 の STR 社による平均客室単価（ADR）は、実際に購入された価格をもとに算出される。したがって、これらの値は単純に比較できるものではない。

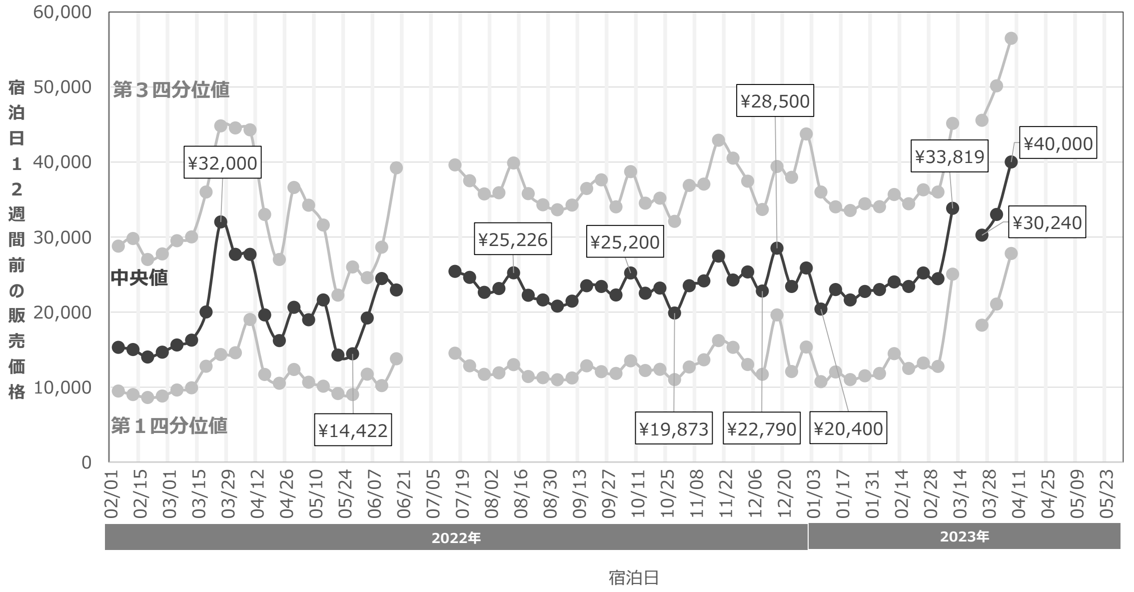
第 3 四分位値： 価格が低い施設から順番に並べたとき、初めから数えて 75%の位置にあたる施設の価格。
中 央 値 ： 価格が低い施設から順番に並べたとき、初めから数えて 50%の位置にあたる施設の価格。
第 1 四分位値： 価格が低い施設から順番に並べたとき、初めから数えて 25%の位置にあたる施設の価格。

予約サイトにおける客室販売価格の推移



注）2022 年 4 月 30 日～5 月 28 日の間は、調査対象となる WEB サイトの見直しを行っていたため、データが欠損しています。





注）2023 年 3 月 18 日の間は、調査対象となるサンプル数が少なかった為、データが欠損しています。

検索時に指定した宿泊日	検索したタイミング	価格の中央値（円）	前年同時期の中央値（円）	前年同期比
2023/1/21	宿泊日の４週間前	19,470	12,634	△ 54.1%
2023/1/28		19,933	11,547	△ 72.6%
2023/2/4		17,648	12,346	△ 42.9%
2023/2/11		19,472	13,310	△ 46.3%
2023/2/18	宿泊日の８週間前	20,700	12,980	△ 59.5%
2023/2/25		21,600	13,659	△ 58.1%
2023/3/4		20,210	14,310	△ 41.2%
2023/3/11		22,108	14,250	△ 55.1%
2023/3/18	宿泊日の12 週間前	-	20,000	-
2023/3/25		30,240	32,000	▼ 5.5%
2023/4/1		33,000	27,676	△ 19.2%
2023/4/8		40,000	27,676	△ 44.5%

（２） 京都観光意向指数（通称：行こう指数）

２-１． 日本人の訪問意向

- インターネット上における京都観光への訪問意向に関するデータをもとに集計した「行こう指数」の 2022 年 12 月の値は 102.7（2019 年の平均値を 100 とした場合）となり、前月（11 月）の 163.2 からは 60.5 ポイント減、前年同月の 102.4 と同水準となった。例年通り、紅葉シーズン終了後は京都にとっては閑散期であり、検索量が減少したものとみられる。
- 市内主要ホテルにおける 2022 年 12 月の日本人実宿泊客数の指数は 179.4 となり、前年同月と同じ水準となった。

2022 年 12 月に注目を集めた京都観光関連の主な番組･ニュース

報道日時	媒体	局名･掲載媒体	番組名･記事名	内容、取材スポットなど
12/2（金）	WEB/SNS	スポニチ等	Perfume あ~ちゃん＆きゃりー、プライベート京都旅	貴船神社、あぶり餅
12/4（日）	TV	テレビ朝日	ナニコレ珍百景	トロッコ嵯峨駅
12/4（日）	TV	フジテレビ	正しく学んで福招き！おてらツアーズ	比叡山延暦寺
12/7（水）	SNS	Twitter	DIR EN GREY ライブ公演	2023 年 GW に京都公演
12/12（月）	TV	各局	清水寺・2022 年「今年の漢字」は「戦」に決定	清水寺
12/25（日）	WEB/SNS	ITmedia	「この冬行きたい都道府県ランキング」	3 位京都府（雪景色、寺社巡り）

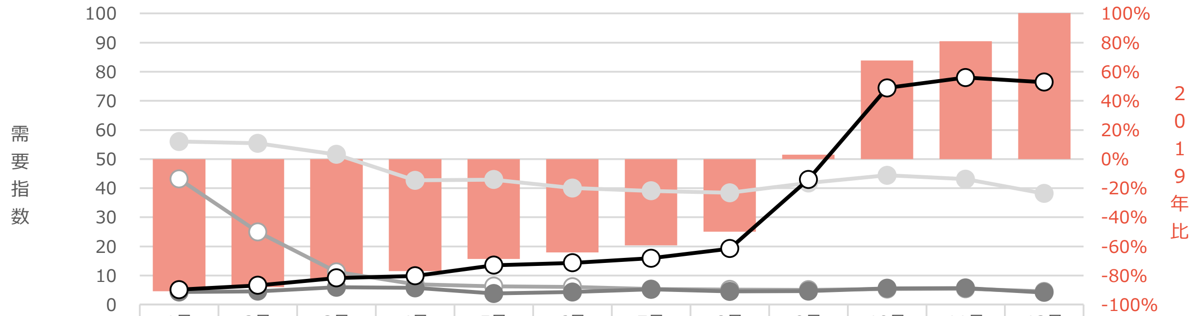
出所）VLe ライナック社 「i-Catch」、「Destination Insights with Google」、
ヴァリューズ社 「dockpit」、当協会運営「京都観光 Navi」データを活用し独自に集計

2-2.　外国人の国際旅行意向

- 全世界のインターネットユーザーによる訪日旅行に関する航空および宿泊需要の検索動向をGoogle が指数化した結果によると、2022 年 12 月は 76.4 となった。10 月 11 日から入国制限がほぼ全面撤廃されたことや円安の影響をうけ、コロナ禍前の 2019 年同月を大幅に上回り、需要指数は高水準で推移している。

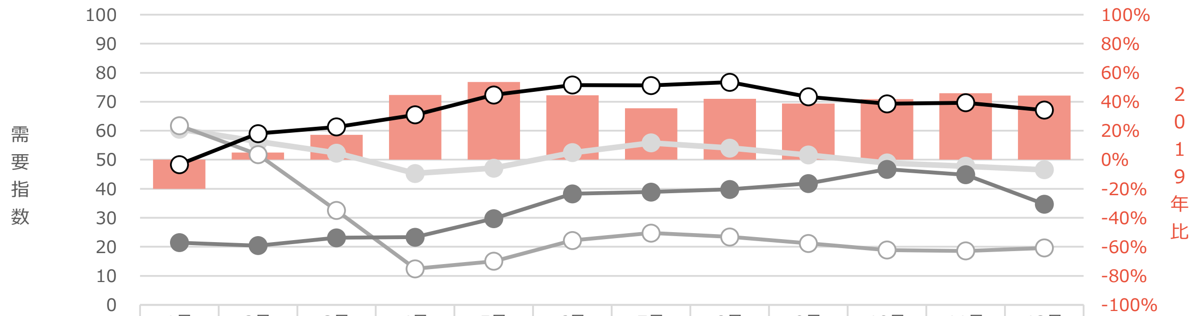
- 全世界における国際旅行に関する潜在需要（航空および宿泊需要の検索動向の指数）は、2022 年 12 月は 67.1 となり、コロナ禍前の 2019 年同月比では 44.2%増となった。世界的な入国制限緩和に合わせて、需要指数は非常に高い水準を維持している。

全世界 ➡ 日本 への宿泊･航空潜在需要
（インターネット検索量）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2019年比	-90.8%	-88.0%	-82.3%	-76.8%	-68.5%	-64.2%	-59.2%	-49.9%	3.0%	67.7%	81.1%	100.3%
2019年	56.0	55.4	51.6	42.7	42.9	40.0	39.1	38.4	41.8	44.4	43.1	38.2
2020年	43.1	25.0	11.2	7.0	6.3	6.1	5.3	5.2	5.1	5.3	5.4	4.5
2021年	4.3	4.6	6.0	5.7	3.8	4.3	5.2	4.5	4.6	5.6	5.7	4.2
本年	5.1	6.6	9.2	9.9	13.5	14.3	15.9	19.2	43.0	74.4	78.0	76.4

全世界 ➡ 全世界 への宿泊･航空潜在需要
（インターネット検索量）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2019年比	-20.2%	4.9%	17.2%	44.6%	53.5%	44.4%	35.5%	42.0%	38.8%	41.8%	45.8%	44.2%
2019年	60.5	56.3	52.3	45.3	47.1	52.4	55.8	54.0	51.7	48.9	47.8	46.5
2020年	61.8	51.8	32.5	12.4	15.0	22.2	24.7	23.4	21.2	18.9	18.6	19.6
2021年	21.4	20.4	23.1	23.3	29.7	38.3	38.9	39.8	41.8	46.7	44.8	34.7
本年	48.3	59.0	61.3	65.5	72.4	75.8	75.6	76.7	71.7	69.3	69.6	67.1

出所）Google Travel Trends をもとに京都市観光協会にて集計

（3） 京都市内の宿泊施設数･客室の推移

- 2022 年 12 月末時点での京都市内における営業許可を受けた宿泊施設の施設数は、16 軒開業、17 軒廃業、差し引き 1 軒減少して、3,478 軒となり、前年同月の 3,625 軒からは 4.1%の減少となった。
- 総客室数（推計）は 57,488 室となり、前年同月の 58,172 室から 1.2%の減少となった。前月（11 月）から 2 か月連続で前年同月から減少している。

	施設数						客室数			
	ホテル･旅館施設数	簡易宿所施設数	総施設数	前年比	新規開業	廃業	ホテル･旅館客室数	簡易宿所客室数	総客室数	前年比
2014年度（2015.3月末）	542	460	1,002	－	106	-	26,260	2,929	29,189	－
2015年度（2016.3月末）	532	696	1,228	△ 22.6%	255	29	26,297	3,489	29,786	△ 2.0%
2016年度（2017.3月末）	550	1,493	2,043	△ 66.4%	838	23	27,753	6,134	33,887	△ 13.8%
2017年度（2018.3月末）	575	2,291	2,866	△ 40.3%	909	86	29,172	9,247	38,419	△ 13.4%
2018年度（2019.3月末）	624	2,990	3,614	△ 26.1%	919	171	33,608	12,539	46,147	△ 20.1%
2019年度（2020.3月末）	656	3,337	3,993	△ 10.5%	663	284	36,243	17,228	53,471	△ 15.9%
2020年度（2021.3月末）	679	3,104	3,783	▼ 5.3%	422	632	39,729	16,454	56,183	△ 5.1%
2021年度（2022.3月末）	680	2,887	3,567	▼ 5.7%	203	419	42,065	16,551	58,616	△ 4.3%

	施設数						客室数			
	ホテル･旅館施設数	簡易宿所施設数	総施設数	前年同月比	新規開業	廃業	ホテル･旅館客室数	簡易宿所客室数	総客室数	前年同月比
2021.12月末	682	2,943	3,625	▼ 6.2%	12	46	41,618	16,554	58,172	△ 4.4%
2022.1月末	685	2,926	3,611	▼ 5.3%	12	26	41,992	16,564	58,556	△ 5.5%
2022.2月末	688	2,908	3,596	▼ 5.4%	13	28	42,368	16,567	58,935	△ 5.5%
2022.3月末	680	2,887	3,567	▼ 5.7%	16	45	42,065	16,551	58,616	△ 4.3%
2022.4月末	676	2,889	3,565	▼ 5.8%	15	17	41,818	16,562	58,380	△ 2.9%
2022.5月末	673	2,867	3,540	▼ 5.9%	7	32	41,632	16,436	58,068	△ 1.6%
2022.6月末	672	2,851	3,523	▼ 5.9%	8	25	41,570	16,345	57,915	△ 1.0%
2022.7月末	673	2,845	3,518	▼ 5.7%	12	17	41,632	16,310	57,942	△ 0.7%
2022.8月末	675	2,834	3,509	▼ 5.4%	9	18	41,756	16,247	58,003	△ 0.6%
2022.9月末	676	2,824	3,500	▼ 5.1%	9	18	41,818	16,190	58,007	△ 0.1%
2022.10月末	677	2,831	3,508	▼ 4.5%	17	9	41,879	16,230	58,109	△ 0.3%
2022.11月末	671	2,808	3,479	▼ 4.9%	9	38	41,508	16,098	57,606	▼ 1.1%
2022.12月末	669	2,809	3,478	▼ 4.1%	16	17	41,385	16,104	57,488	▼ 1.2%

出所）京都市 保健福祉局「旅館業法に基づく許可施設数の推移」をもとに集計
注）客室数は年度末（毎年 3 月末）時点しか発表されないため、それ以外の月の数値は、年度末の施設あたり客室数をもとに補完推計して算出している。

（４）　ビッグデータにもとづく京都市内の人流・滞在状況

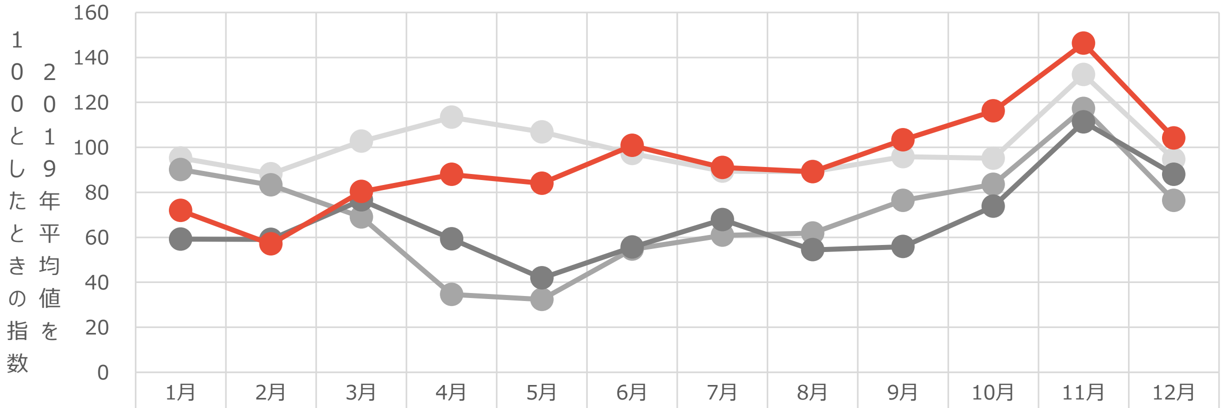
４-１.　　市内の日本人来街者数の実績

京都市内の主要地点 39 箇所における日本人来街者数※を、携帯電話の位置情報をもとにしたビッグデータから以下の通り集計した。

- 2022 年 12 月の来街者指数は 104.1（2019 年の平均値を 100 とした場合）となり、前年同月の 88.0 を 16.1 ポイント上回った。コロナ禍前である 2019 年同月を 4 か月連続で上回っている。
- 地点別の指数をみると、半数のエリアで来街者数が 2019 年年間平均値を上回った。もともと観光客が少ない地点が高い水準であった。帰省や年末年始の買い出し等で増加したものと考えられる。

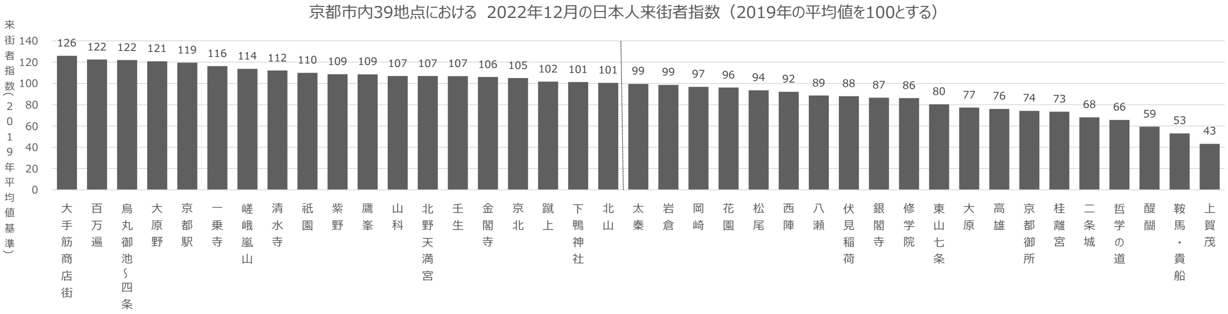
※　測定の対象とする地域内の居住者や、通勤等の目的で頻繁に来訪・滞在する人以外で、当該地域を訪れる人の数

京都市内39地点における日本人来街者指数の推移



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2019	95.3	88.2	102.7	113.3	106.8	97.2	89.4	89.2	95.8	95.1	132.4	94.6
2020	90.1	83.2	69.0	34.6	32.3	54.6	60.9	61.8	76.4	83.5	117.2	76.4
2021	59.2	59.0	76.6	59.3	41.9	55.6	67.8	54.4	55.8	73.7	111.3	88.0
2022	71.9	57.0	80.3	87.9	84.0	100.8	91.0	89.1	103.3	116.1	146.2	104.1

京都市内39地点における　2022年12月の日本人来街者指数（2019年の平均値を100とする）



出所）KDDI 社のスマートフォン位置情報（KDDI Location Analyzer）をもとに集計

2022 年 6 月分から上記システムの集計精度が高まった為、過去のデータとの単純比較はできない。

4-2.　年代別の分布

- 京都駅周辺の来街者数の前年同月比は、ワクチン接種等により感染不安・重症化不安が和らいだことや「全国旅行支援」があったため、全年代で増加した。
- 年代別構成比での60代以上が占める割合は28.0%と、3か月ぶりに30%を下回った。

京都駅周辺の来街者数の前年同月比

年	月	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
2021	12	△ 20.9%	△ 36.2%	△ 28.8%	△ 24.5%	△ 25.6%	△ 35.2%
2022	1	△ 34.0%	△ 43.1%	△ 39.5%	△ 36.4%	△ 39.6%	△ 46.3%
2022	2	△ 11.4%	△ 5.6%	△ 0.8%	△ 2.3%	△ 1.9%	▼ 2.6%
2022	3	△ 11.3%	△ 7.2%	△ 10.0%	△ 7.6%	△ 11.1%	△ 11.7%
2022	4	△ 30.3%	△ 37.3%	△ 39.3%	△ 38.7%	△ 55.3%	△ 76.1%
2022	5	△ 103.3%	△ 120.7%	△ 124.7%	△ 115.9%	△ 145.6%	△ 195.8%
2022	6	△ 105.4%	△ 115.6%	△ 97.8%	△ 100.1%	△ 114.9%	△ 143.6%
2022	7	△ 51.2%	△ 53.6%	△ 51.9%	△ 50.5%	△ 58.3%	△ 47.2%
2022	8	△ 79.8%	△ 77.4%	△ 82.1%	△ 75.9%	△ 70.4%	△ 68.8%
2022	9	△ 127.0%	△ 110.8%	△ 105.8%	△ 98.3%	△ 101.7%	△ 103.1%
2022	10	△ 74.4%	△ 68.0%	△ 61.0%	△ 57.5%	△ 61.2%	△ 68.9%
2022	11	△ 42.8%	△ 41.0%	△ 33.4%	△ 31.8%	△ 31.8%	△ 37.2%
2022	12	△ 27.8%	△ 22.3%	△ 20.8%	△ 17.8%	△ 19.8%	△ 17.5%

京都駅周辺の来街者の年代別構成比

年	月	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
2021	12	21.0%	17.6%	17.7%	15.1%	14.8%	13.8%
2022	1	22.3%	18.3%	18.7%	15.7%	13.7%	11.3%
2022	2	23.0%	16.8%	18.0%	16.2%	14.4%	11.6%
2022	3	21.1%	15.4%	18.2%	16.0%	15.2%	14.1%
2022	4	19.0%	15.9%	17.3%	15.3%	16.6%	15.8%
2022	5	20.1%	17.1%	17.1%	15.0%	16.0%	14.6%
2022	6	19.9%	17.3%	16.9%	15.0%	15.9%	15.1%
2022	7	21.9%	17.6%	17.9%	15.3%	15.1%	12.2%
2022	8	24.5%	17.8%	19.3%	15.1%	13.1%	10.2%
2022	9	24.0%	17.6%	17.1%	14.7%	14.2%	12.3%
2022	10	20.7%	16.6%	16.5%	14.9%	15.6%	15.7%
2022	11	19.6%	15.6%	15.7%	14.6%	16.8%	17.7%
2022	12	22.1%	17.7%	17.6%	14.6%	14.6%	13.4%

出所）KDDI社のスマートフォン位置情報（KDDI Location Analyzer）をもとに集計

（5） 京都市内４百貨店における免税売上げ

	2022 年 12 月	2021 年 12 月	前年同月比	2019 年 12 月	2019 年同月比
免税件数	14,805 件	184 件	△ 7,946.2%	27,512 件	▼ 46.2%
免税単価	8 万 2,483 円	59 万 2,199 円	▼ 86.1%	5 万 1,832 円	△ 59.1%
免税売上額	12 億 2,074 万円	1 億 0,896 万円	△ 1,020.4%	14 億 2,600 万円	▼ 14.4%
総売上額	260 億 3,403 万円	237 億 5,042 万円	△ 9.6%	259 億 8,248 万円	△ 0.2%
免税売上割合	4.7%	0.5%	△ 4.2pts	5.5%	▼ 0.8pts

※総売上額には免税対象とならない飲食サービス売上げ等も含まれる（税別）

		免税売上（万円）					免税割合				
		当年	前年	前年比	2019年	2019年比	当年	前年	前年比	2019年	2019年比
2021年	12月	10,896	6,210	75.5%	142,600	-92.4%	0.5%	0.3%	△ 0.2	5.5%	▼ 5.0
2022年	1月	12,341	10,677	15.6%	122,300	-89.9%	0.8%	0.8%	△ 0.0	6.2%	▼ 5.4
	2月	9,574	9,950	-3.8%	167,735	-94.3%	0.9%	1.0%	▼ 0.1	9.9%	▼ 9.0
	3月	9,375	9,965	-5.9%	172,657	-94.6%	0.6%	0.6%	△ 0.0	8.3%	▼ 7.7
	4月	10,638	6,159	72.7%	199,274	-94.7%	0.7%	0.5%	△ 0.2	10.9%	▼ 10.2
	5月	11,245	13,950	-19.4%	161,464	-93.0%	0.7%	1.7%	▼ 1.0	9.0%	▼ 8.3
	6月	13,799	11,154	23.7%	146,483	-90.6%	0.8%	0.8%	△ 0.0	7.8%	▼ 7.0
	7月	20,561	5,773	256.2%	142,213	-85.5%	1.2%	0.4%	△ 0.8	7.6%	▼ 6.4
	8月	17,404	6,754	157.7%	124,408	-86.0%	1.2%	0.6%	△ 0.6	7.3%	▼ 6.1
	9月	17,714	7,906	124.1%	118,425	-85.0%	1.1%	0.6%	△ 0.5	5.7%	▼ 4.6
	10月	54,325	11,603	368.2%	135,393	-59.9%	3.1%	0.7%	△ 2.4	8.5%	▼ 5.4
	11月	97,553	9,366	941.6%	159,972	-39.0%	4.9%	0.5%	△ 4.4	8.0%	▼ 3.1
	12月	122,074	10,896	1020.4%	142,600	-14.4%	4.7%	0.5%	△ 4.2	5.5%	▼ 0.8

免税売上額に占める国･地域別割合（構成比）

順 位	2022 年 12 月				2021 年 12 月	
	国･地域名	構成比	前年同月比	2019 年同月比	国･地域名	構成比
1	台 湾	26.2%	△ 25.8 ポイント	▼ 22.7 ポイント	中 国	92.1%
2	中 国	16.3%	▼ 75.8 ポイント	▼ 65.8 ポイント	台 湾	0.38%
3	香 港	15.0%	△ 15.0 ポイント	△ 12.2 ポイント	韓 国	0.06%
4	シンガポール	7.36%	△ 7.36 ポイント	△ 6.96 ポイント	アメリカ	0.01%
5	韓 国	6.73%	△ 6.67 ポイント	△ 4.93 ポイント	スイス	0.01%

注）2 年以上外国に滞在する日本人が一時帰国し、入国後 6 か月未満である場合も免税対象となる。これに該当する免税売上げは国・地域別構成比の計算に含めているが、ランキングからは除外している。

（6）　京都総合観光案内所（京なび）利用者数　※JR 京都駅ビル 2 階

相談者数（人）	2022 年 12 月	2022 年 11 月	前月比	2021 年 12 月	前年同月比	2019 年 12 月	2019 年同月比
日本人	22,290	32,470	▼ 31.4%	19,291	△15.5%	30,514	▼27.0%
外国人	9,126	8,381	△ 8.9%	466	△1,858.4%	19,542	▼53.3%
合　計	31,416	40,851	▼ 23.1%	19,757	△ 59.0%	50,056	▼37.2%
外国人比率	29.5%	20.5%	△ 8.5pts	2.4%	△26.7pts	39.0%	▼9.5pts

来所者数（自動カウント機による）	67,925	87,559	▼ 22.4%	45,002	△ 50.9%	102,917	▼34.0%

外国人相談者における国・地域別割合

順位	2022 年 12 月		2022 年 11 月		2021 年 12 月		2019 年 12 月	
	国・地域名	構成比	国・地域名	構成比	国・地域名	構成比	国・地域名	構成比
1	韓　国	17.8%	韓　国	16.4%	アメリカ	30.0%	中　国	22.0%
2	台　湾	11.9%	アメリカ	11.0%	イギリス	14.0%	シンガポール	10.7%
3	アメリカ	11.0%	シンガポール	9.8%	インド	14.0%	アメリカ	7.3%
4	香　港	10.5%	台　湾	9.8%	中　国	7.2%	オーストラリア	7.0%
5	シンガポール	10.2%	香　港	8.0%	台　湾	5.5%	台　湾	6.8%

（７）　為替レートの推移

月平均Telegraphic Transfer Buying（「外貨」を「円」に交換するときのレート）

数値が小さくなるほど円高となり、外国人が訪日旅行をする際不利となる

時点		米ドル	ユーロ	英ポンド	豪ドル	香港ドル	台湾ドル	中国 人民元	タイ バーツ	韓国 ウォン
2019	1月	108.0	123.0	136.8	76.0	13.5	0.281	15.8	3.35	9.5
	2月	109.4	123.8	139.6	76.9	13.6	0.277	16.1	3.45	9.7
	3月	110.2	124.2	142.6	76.7	13.7	0.275	16.3	3.43	9.6
	4月	110.7	124.1	141.7	77.6	13.8	0.274	16.3	3.43	9.6
	5月	108.9	121.4	136.8	74.2	13.6	0.282	15.6	3.38	9.1
	6月	107.1	120.5	133.0	73.1	13.4	0.288	15.4	3.39	9.0
	7月	107.3	120.0	131.2	73.6	13.4	0.293	15.4	3.44	9.0
	8月	105.3	116.8	125.3	70.0	13.1	0.288	14.7	3.38	8.6
	9月	106.5	116.7	128.5	71.1	13.3	0.288	14.8	3.43	8.8
	10月	107.2	117.9	132.4	71.4	13.4	0.282	14.9	3.48	8.9
	11月	107.9	118.8	136.3	72.3	13.5	0.278	15.2	3.52	9.1
	12月	**108.2**	**119.8**	**139.0**	**73.1**	**13.6**	**0.272**	**15.3**	**3.54**	**9.1**
2020	1月	108.4	119.9	138.9	72.9	13.6	0.272	15.5	3.51	9.2
	2月	109.0	118.5	138.7	71.4	13.7	0.272	15.4	3.44	9.0
	3月	106.4	117.5	129.2	65.0	13.4	0.278	15.0	3.28	8.6
	4月	107.0	115.9	130.0	65.8	13.5	0.276	15.0	3.23	8.6
	5月	106.4	115.5	127.8	68.1	13.4	0.277	14.8	3.27	8.6
	6月	106.6	119.6	130.8	72.1	13.5	0.274	14.9	3.37	8.7
	7月	105.8	120.7	131.1	73.0	13.4	0.273	14.9	3.33	8.7
	8月	105.1	123.9	135.3	74.3	13.3	0.275	15.0	3.32	8.8
	9月	104.8	123.2	133.3	74.5	13.2	0.274	15.2	3.29	8.8
	10月	104.3	122.4	132.6	73.0	13.2	0.270	15.4	3.29	9.0
	11月	103.4	122.0	133.9	73.9	13.0	0.271	15.5	3.35	9.2
	12月	**102.8**	**124.7**	**135.4**	**76.0**	**13.0**	**0.269**	**15.6**	**3.37**	**9.3**
2021	1月	102.7	124.7	137.5	78.1	12.9	0.268	15.7	3.38	9.3
	2月	104.4	125.9	141.9	79.6	13.2	0.263	16.1	3.44	9.3
	3月	107.6	127.9	146.6	81.8	13.6	0.257	16.4	3.45	9.4
	4月	108.1	128.9	147.0	82.0	13.6	0.257	16.4	3.41	9.6
	5月	108.2	131.2	150.0	82.8	13.6	0.250	16.7	3.41	9.5
	6月	109.1	131.3	150.6	82.2	13.8	0.250	16.9	3.43	9.6
	7月	109.3	128.9	148.4	80.0	13.8	0.252	16.7	3.30	9.5
	8月	108.9	127.8	147.6	78.2	13.7	0.251	16.7	3.24	9.3
	9月	109.2	128.3	147.5	78.7	13.7	0.249	16.8	3.26	9.2
	10月	112.1	129.7	150.8	81.6	14.1	0.245	17.3	3.30	9.4
	11月	113.1	128.8	149.6	81.5	14.2	0.242	17.6	3.37	9.5
	12月	**112.9**	**127.2**	**147.4**	**79.4**	**14.2**	**0.242**	**17.6**	**3.32**	**9.4**
2022	1月	113.9	128.5	151.7	80.5	14.3	0.239	17.8	3.38	9.4
	2月	114.2	129.1	151.9	80.4	14.3	0.239	17.9	3.45	9.4
	3月	117.5	129.1	152.2	85.3	14.7	0.238	18.4	3.49	9.5
	4月	125.0	135.0	159.5	91.1	15.6	0.228	19.3	3.66	10.0
	5月	127.8	134.8	156.2	88.6	16.0	0.220	18.8	3.66	10.0
	6月	132.9	140.1	161.1	92.1	16.6	0.219	19.7	3.76	10.3
	7月	135.8	138.0	160.2	91.8	17.0	0.216	20.0	3.69	10.3
	8月	134.2	135.3	158.0	92.0	16.8	0.220	19.6	3.69	10.1
	9月	142.1	140.2	158.2	93.7	17.8	0.216	20.1	3.79	10.1
	10月	146.2	143.4	162.4	91.7	18.3	0.215	20.2	3.80	10.1
	11月	141.5	143.7	163.1	91.9	17.8	0.219	19.5	3.83	10.3
	12月	**134.1**	**141.4**	**160.4**	**89.1**	**16.9**	**0.225**	**19.0**	**3.80**	**10.3**

※韓国ウォンは 100 ウォンあたりのレート

出所）三菱 UFJ リサーチ＆コンサルティング　外国為替相場

宿泊状況調査結果詳細
（2022年12月）

（公社）京都市観光協会
（公財）京都文化交流コンベンションビューロー

国・地域		2022年（12月）														
		実人数					延べ人数					延べ部屋数				
		2022	2021	伸率	2022構成比	2021構成比	2022	2021	伸率	2022構成比	2021構成比	2022	2021	伸率	2022構成比	2021構成比
北米	アメリカ	13006	555	2243.4%	18.2%	42.9%	37,028	919	3929.2%	19.3%	41.8%	17,495	521	3258.0%	18.1%	38.5%
	カナダ	1,437	0	100.0%	2.0%	N/A	4,109	10	40990.0%	2.1%	0.5%	2,079	4	51875.0%	2.1%	0.3%
	北米小計	14,443	555	2502.3%	20.2%	42.9%	41,137	929	4328.1%	21.4%	42.2%	19,574	525	3628.4%	20.2%	38.8%
中南米	メキシコ	276	0	100.0%	0.4%	N/A	926	0	100.0%	0.5%	N/A	457	0	100.0%	0.5%	N/A
	ブラジル	204	2	10100.0%	0.3%	0.2%	680	4	16900.0%	0.4%	0.2%	305	2	15150.0%	0.3%	0.1%
	その他	160	2	7900.0%	0.2%	0.2%	669	2	33350.0%	0.3%	0.1%	369	2	18350.0%	0.4%	0.1%
	南米小計	640	4	15900.0%	0.9%	0.3%	2,275	6	37816.7%	1.2%	0.3%	1,131	4	28175.0%	1.2%	0.3%
ヨーロッパ	イギリス	1,218	17	7064.7%	1.7%	1.3%	3,679	30	12163.3%	1.9%	1.4%	2,059	19	10736.8%	2.1%	1.4%
	フランス	1,355	47	2783.0%	1.9%	3.6%	4,159	69	5927.5%	2.2%	3.1%	2,195	46	4671.7%	2.3%	3.4%
	ドイツ	501	7	7057.1%	0.7%	0.5%	1,435	34	4120.6%	0.7%	1.5%	1,003	26	3757.7%	1.0%	1.9%
	イタリア	551	1	55000.0%	0.8%	0.1%	1,578	1	157700.0%	0.8%	0.0%	843	1	84200.0%	0.9%	0.1%
	オランダ	168	0	100.0%	0.2%	N/A	461	0	100.0%	0.2%	N/A	268	0	100.0%	0.3%	N/A
	スペイン	863	2	43050.0%	1.2%	0.2%	2,475	7	35257.1%	1.3%	0.3%	1,308	4	32600.0%	1.4%	0.3%
	スイス	177	2	8750.0%	0.2%	0.2%	647	3	21466.7%	0.3%	0.1%	370	3	12233.3%	0.4%	0.2%
	スウェーデン	70	0	100.0%	0.1%	N/A	153	0	100.0%	0.1%	N/A	90	0	100.0%	0.1%	N/A
	フィンランド	26	0	100.0%	0.0%	N/A	83	0	100.0%	0.0%	N/A	50	0	100.0%	0.1%	N/A
	ロシア	73	5	1360.0%	0.1%	0.4%	231	6	3750.0%	0.1%	0.3%	126	3	4100.0%	0.1%	0.2%
	その他	788	32	2362.5%	1.1%	2.5%	2,422	49	4842.9%	1.3%	2.2%	1,409	28	4932.1%	1.5%	2.1%
	ヨーロッパ小計	5,790	113	5023.9%	8.1%	8.7%	17,323	199	8605.0%	9.0%	9.0%	9,721	130	7377.7%	10.0%	9.6%
東アジア	中国	5,076	141	3500.0%	7.1%	10.9%	14,402	236	6002.5%	7.5%	10.7%	7,445	159	4582.4%	7.7%	11.8%
	台湾	9,200	26	35284.6%	12.9%	2.0%	23,593	171	13697.1%	12.3%	7.8%	12,116	108	11118.5%	12.5%	8.0%
	香港	7,041	11	63909.1%	9.8%	0.8%	16,497	15	109880.0%	8.6%	0.7%	8,449	12	70308.3%	8.7%	0.9%
	韓国	9,291	26	35634.6%	13.0%	2.0%	21,839	39	55897.4%	11.4%	1.8%	11,740	26	45053.8%	12.1%	1.9%
	東アジア小計	30,608	204	14903.9%	42.8%	15.8%	76,331	461	16457.7%	39.8%	20.9%	39,750	305	12932.8%	41.1%	22.6%
東南アジア	フィリピン	551	12	4491.7%	0.8%	0.9%	1,741	25	6864.0%	0.9%	1.1%	825	7	11685.7%	0.9%	0.5%
	ベトナム	549	14	3821.4%	0.8%	1.1%	866	19	4457.9%	0.5%	0.9%	443	15	2853.3%	0.5%	1.1%
	タイ	2,119	18	11672.2%	3.0%	1.4%	4,630	19	24268.4%	2.4%	0.9%	2,292	14	16271.4%	2.4%	1.0%
	インドネシア	1,764	0	100.0%	2.5%	N/A	4,677	0	100.0%	2.4%	N/A	2,175	0	100.0%	2.2%	N/A
	マレーシア	1,799	6	29883.3%	2.5%	0.5%	4,340	12	36066.7%	2.3%	0.5%	2,120	9	23455.6%	2.2%	0.7%
	シンガポール	7,236	23	31360.9%	10.1%	1.8%	21,119	56	37612.5%	11.0%	2.5%	9,824	25	39196.0%	10.2%	1.8%
	インド	362	19	1805.3%	0.5%	1.5%	983	26	3680.8%	0.5%	1.2%	553	12	4508.3%	0.6%	0.9%
	その他	364	23	1482.6%	0.5%	1.8%	1,225	30	3983.3%	0.6%	1.4%	625	19	3189.5%	0.6%	1.4%
	東南アジア小計	14,744	115	12720.9%	20.6%	8.9%	39,581	187	21066.3%	20.6%	8.5%	18,857	101	18570.3%	19.5%	7.5%
中東	イスラエル	118	3	3833.3%	0.2%	0.2%	372	3	12300.0%	0.2%	0.1%	228	3	7500.0%	0.2%	0.2%
	カタール	56	0	100.0%	0.1%	N/A	132	0	100.0%	0.1%	N/A	47	0	100.0%	0.0%	N/A
	UAE	99	0	100.0%	0.1%	N/A	544	0	100.0%	0.3%	N/A	263	0	100.0%	0.3%	N/A
	サウジアラビア	25	0	100.0%	0.0%	N/A	92	0	100.0%	0.0%	N/A	56	0	100.0%	0.1%	N/A
	トルコ	39	1	3800.0%	0.1%	0.1%	96	1	9500.0%	0.1%	0.0%	66	1	6500.0%	0.1%	0.1%
	その他	162	0	100.0%	0.2%	N/A	487	0	100.0%	0.3%	N/A	271	0	100.0%	0.3%	N/A
	中東小計	499	4	12375.0%	0.7%	0.3%	1,723	4	42975.0%	0.9%	0.2%	931	4	23175.0%	1.0%	0.3%
オセアニア	オーストラリア	3,222	15	21380.0%	4.5%	1.2%	9,344	36	25855.6%	4.9%	1.6%	4,525	23	19573.9%	4.7%	1.7%
	ニュージーランド	156	1	15500.0%	0.2%	0.1%	671	2	33450.0%	0.3%	0.1%	349	2	17350.0%	0.4%	0.1%
	その他	9	0	100.0%	0.0%	N/A	20	0	100.0%	0.0%	N/A	11	0	100.0%	0.0%	N/A
	オセアニア小計	3,387	16	21068.8%	4.7%	1.2%	10,035	38	26307.9%	5.2%	1.7%	4,885	25	19440.0%	5.0%	1.8%
アフリカ		43	0	100.0%	0.1%	N/A	167	0	100.0%	0.1%	N/A	106	0	100.0%	0.1%	N/A
海外その他		1,354	284	376.8%	1.9%	21.9%	3,245	377	760.7%	1.7%	17.1%	1,826	258	607.8%	1.9%	19.1%
外国人合計		71,508	1,295	5421.9%			191,817	2,201	8615.0%			96,781	1,352	7058.4%		
日本人合計		327,136	305,487	7.1%			584,348	508,107	15.0%			341,212	302,853	12.7%		
合計		398,644	306,782	29.9%			776,165	510,308	52.1%			437,993	304,205	44.0%		

	2022	2021	伸率・前年同月差
販売可能客室数	596,711室	568,741室	4.9%
稼働客室数	437,993室	304,205室	44.0%
稼働率	73.4%	53.5%	19.9ポイント増
外国人比率（延べ人数ベース）	24.7%	0.4%	24.3ポイント増
外国人比率（延べ部屋数ベース）	22.1%	0.4%	21.7ポイント増

（注）実人数もしくは延べ人数の集計がない施設の数値については、回答のあった施設の平均値（国・地域別）をもとに算出。小数点第一位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。

（1）調査時期：2022年12月1日～2022年12月31日

（2）対象施設数：115ホテル（19,259室）

宿泊状況調査結果詳細
（2022年1月～12月累計）

（公社）京都市観光協会
（公財）京都文化交流コンベンションビューロー

国・地域		2022年（1月～12月）														
		実人数					延べ人数					延べ部屋数				
		2022	2021	伸率	2022構成比	2021構成比	2022	2021	伸率	2022構成比	2021構成比	2022	2021	伸率	2022構成比	2021構成比
北米	アメリカ	38,227	3,195	1096.6%	21.4%	40.6%	115,016	7,448	1444.3%	64.4%	94.6%	57,441	3,945	1356.0%	32.2%	50.1%
	カナダ	3,602	105	3340.0%	2.0%	1.3%	11,105	224	4862.5%	6.2%	2.8%	5,953	122	4779.5%	3.3%	1.5%
	北米小計	41,830	3,300	1167.8%	23.4%	41.9%	126,121	7,672	1544.0%	70.6%	97.4%	63,394	4,067	1458.7%	35.5%	51.6%
中南米	メキシコ	804	31	2494.7%	0.5%	0.4%	2,507	49	5016.3%	1.4%	0.6%	1,279	23	5460.9%	0.7%	0.3%
	ブラジル	674	35	1824.8%	0.4%	0.4%	2,165	84	2477.0%	1.2%	1.1%	1,119	56	1898.2%	0.6%	0.7%
	その他	587	40	1368.0%	0.3%	0.5%	2,357	155	1420.6%	1.3%	2.0%	1,338	104	1186.5%	0.7%	1.3%
	南米小計	2,065	106	1848.4%	1.2%	1.3%	7,029	288	2340.5%	3.9%	3.7%	3,736	183	1941.5%	2.1%	2.3%
ヨーロッパ	イギリス	4,726	137	3352.5%	2.6%	1.7%	13,694	292	4589.9%	7.7%	3.7%	8,339	170	4805.3%	4.7%	2.2%
	フランス	4,983	246	1924.1%	2.8%	3.1%	18,812	498	3677.5%	10.5%	6.3%	10,704	370	2793.0%	6.0%	4.7%
	ドイツ	3,260	59	5425.1%	1.8%	0.7%	10,463	298	3408.7%	5.9%	3.8%	7,078	207	3319.3%	4.0%	2.6%
	イタリア	2,403	46	5174.9%	1.3%	0.6%	7,828	99	7807.3%	4.4%	1.3%	4,585	79	5703.8%	2.6%	1.0%
	オランダ	835	36	2220.2%	0.5%	0.5%	2,462	64	3777.2%	1.4%	0.8%	1,574	52	2926.9%	0.9%	0.7%
	スペイン	2,494	11	22576.8%	1.4%	0.1%	7,454	47	15759.6%	4.2%	0.6%	4,198	30	13893.3%	2.4%	0.4%
	スイス	1,121	11	10090.0%	0.6%	0.1%	3,471	60	5685.5%	1.9%	0.8%	2,079	50	4058.0%	1.2%	0.6%
	スウェーデン	526	10	5158.8%	0.3%	0.1%	1,366	22	6109.1%	0.8%	0.3%	881	13	6676.9%	0.5%	0.2%
	フィンランド	214	4	5250.0%	0.1%	0.1%	706	11	6318.2%	0.4%	0.1%	475	9	5177.8%	0.3%	0.1%
	ロシア	551	47	1072.7%	0.3%	0.6%	1,650	90	1733.3%	0.9%	1.1%	872	62	1306.5%	0.5%	0.8%
	その他	4,864	177	2642.3%	2.7%	2.3%	14,731	948	1453.9%	8.2%	12.0%	9,061	846	971.0%	5.1%	10.7%
	ヨーロッパ小計	25,978	784	3213.5%	14.5%	10.0%	82,637	2,429	3302.5%	46.3%	30.8%	49,846	1,888	2540.1%	27.9%	24.0%
東アジア	中国	11,719	987	1088.0%	6.6%	12.5%	31,805	2,340	1259.3%	17.8%	29.7%	18,023	1,877	860.2%	10.1%	23.8%
	台湾	17,019	291	5744.2%	9.5%	3.7%	43,257	601	7097.4%	24.2%	7.6%	22,866	376	5981.4%	12.8%	4.8%
	香港	13,077	73	17813.3%	7.3%	0.9%	31,589	139	22626.1%	17.7%	1.8%	16,428	108	15111.1%	9.2%	1.4%
	韓国	19,380	240	7988.8%	10.9%	3.0%	46,190	455	10051.6%	25.9%	5.8%	25,888	296	8645.9%	14.5%	3.8%
	東アジア小計	61,195	1,590	3748.0%	34.3%	20.2%	152,841	3,535	4224.0%	85.6%	44.9%	83,205	2,657	3031.5%	46.6%	33.7%
東南アジア	フィリピン	1,185	69	1617.7%	0.7%	0.9%	3,696	151	2347.7%	2.1%	1.9%	1,861	60	3001.7%	1.0%	0.8%
	ベトナム	1,223	128	855.6%	0.7%	1.6%	2,069	172	1102.9%	1.2%	2.2%	1,174	104	1028.8%	0.7%	1.3%
	タイ	5,239	87	5956.6%	2.9%	1.1%	11,116	262	4142.6%	6.2%	3.3%	5,733	169	3292.3%	3.2%	2.1%
	インドネシア	3,015	57	5189.5%	1.7%	0.7%	7,737	113	6746.5%	4.3%	1.4%	3,741	58	6350.0%	2.1%	0.7%
	マレーシア	3,490	33	10476.8%	2.0%	0.4%	8,470	104	8044.4%	4.7%	1.3%	4,342	65	6580.0%	2.4%	0.8%
	シンガポール	13,058	115	11267.2%	7.3%	1.5%	36,511	502	7173.1%	20.4%	6.4%	17,922	249	7097.6%	10.0%	3.2%
	インド	966	83	1064.0%	0.5%	1.1%	2,842	175	1523.9%	1.6%	2.2%	1,812	100	1712.0%	1.0%	1.3%
	その他	1,389	414	235.6%	0.8%	5.3%	3,640	597	509.7%	2.0%	7.6%	2,106	410	413.7%	1.2%	5.2%
	東南アジア小計	29,566	985	2901.3%	16.6%	12.5%	76,080	2,076	3564.8%	42.6%	26.4%	38,691	1,215	3084.4%	21.7%	15.4%
中東	イスラエル	2,622	4	65460.0%	1.5%	0.1%	5,877	9	65200.0%	3.3%	0.1%	3,449	9	38222.2%	1.9%	0.1%
	カタール	67	2	3233.4%	0.0%	0.0%	217	10	2070.0%	0.1%	0.1%	78	10	680.0%	0.0%	0.1%
	UAE	342	11	3006.1%	0.2%	0.1%	1,173	10	11630.0%	0.7%	0.1%	607	10	5970.0%	0.3%	0.1%
	サウジアラビア	110	4	2650.0%	0.1%	0.1%	380	6	6233.3%	0.2%	0.1%	205	5	4000.0%	0.1%	0.1%
	トルコ	153	9	1600.0%	0.1%	0.1%	545	22	2377.3%	0.3%	0.3%	355	21	1590.5%	0.2%	0.3%
	その他	872	25	3386.9%	0.5%	0.3%	2,193	128	1613.3%	1.2%	1.6%	1,466	120	1121.7%	0.8%	1.5%
	中東小計	4,165	55	7473.6%	2.3%	0.7%	10,385	185	5513.5%	5.8%	2.3%	6,160	175	3420.0%	3.4%	2.2%
オセアニア	オーストラリア	6,921	94	7256.9%	3.9%	1.2%	19,895	290	6760.2%	11.1%	3.7%	10,700	158	6672.2%	6.0%	2.0%
	ニュージーランド	495	26	1802.9%	0.3%	0.3%	1,717	56	2966.1%	1.0%	0.7%	956	32	2887.5%	0.5%	0.4%
	その他	51	10	410.0%	0.0%	0.1%	183	44	315.9%	0.1%	0.6%	98	35	180.0%	0.1%	0.4%
	オセアニア小計	7,467	130	5640.4%	4.2%	1.7%	21,795	390	5488.4%	12.2%	5.0%	11,754	225	5124.0%	6.6%	2.9%
アフリカ		281	16	1655.1%	0.2%	0.2%	974	108	801.4%	0.5%	1.4%	769	106	625.5%	0.4%	1.3%
海外その他		6,032	911	562.3%	3.4%	11.6%	13,747	1,894	625.8%	7.7%	24.0%	8,691	3,406	155.2%	4.9%	43.2%
外国人合計		178,579	7,877	2167.1%			491,608	18,576	2546.5%			266,246	13,922	1812.4%		
日本人合計		3,260,006	1,785,955	82.5%			5,404,907	2,949,395	83.3%			3,280,323	1,860,405	76.3%		
合　計		3,438,585	1,793,831	91.7%			5,896,515	2,967,971	98.7%			3,546,569	1,874,327	89.2%		

	2022	2021	伸率・前年同月差
販売可能客室数	6,749,481室	6,238,093室	8.2%
稼働客室数	3,546,569室	1,874,327室	89.2%
稼働率	52.5%	30.0%	22.5ポイント増
外国人比率（延べ人数ベース）	8.3%	0.6%	7.7ポイント増
外国人比率（延べ部屋数ベース）	7.5%	0.7%	6.8ポイント増

（注）実人数もしくは延べ人数の集計がない施設の数値については、回答のあった施設の平均値（国・地域別）をもとに算出。

（1）調査時期：2022年1月1日～2022年12月31日

（2）回答施設数：【2022年】1月（101ホテル,17,923室）、2月（103ホテル18,177室）、3月（109ホテル18,522室）、4月（108ホテル18,409室）、5月（108ホテル18,270室）、6月（107ホテル18,197室）、7月（111ホテル18,634室）、8月（111ホテル18,702室）、9月（114ホテル18,908室）、10月（116ホテル 19006室）、11月（112ホテル 19,039室）、12月（115ホテル19259室）